官報

第八千三百五十九號　明治四十四年五月六日　土曜日

印刷局

○條約

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ明治四十四年四月三日大不列顛國倫敦ニ於テ日英兩國全權委員ノ署名調印シタル通商航海條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十四年五月五日

内閣總理大臣　公爵桂　太郎

外務大臣　侯爵小村壽太郎

條約第二號

日本國皇帝陛下及大不列顛愛蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下ハ幸ニ其ノ間竝其ノ臣民間ニ存在スル友好親善ノ關係ヲ鞏固ナラシメ且兩國ノ通商關係ヲ進歩發達セシメムコトヲ欲シ之カ爲ニ通商航海條約ヲ締結スルコトニ決定シ日本國皇帝陛下ハ英國駐箚特命全權大使從三位勳一等加藤高明ヲ大不列顛愛蘭聯合王國大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下ハ外務大臣國會議員、バロネット、ライト、オノラブル、サー、エドワード、グレイヲ各其ノ全權委員ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ之カ眞好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

兩締約國ノ一方ノ臣民ハ他ノ一方ノ版圖内ニ到リ、旅行シ又ハ居住スルコトニ付完全ナル自由ヲ有スヘシ而シテ其ノ國法ニ遵由スルニ於テハ

一　旅行及住居ニ關スル一切ノ事項ニ付總テ内國臣民ト同一ノ基礎ニ置カルヘク

二　商業及製造業ヲ營ミ又自ラ行フト代理人ニ由ルトヲ問ハス且單獨ニテ行フト外國人或ハ内國臣民トノ組合ヲ以テスルトニ論ナク適法ナル商業ノ目的物タル各種商品ヲ取扱フコトニ付内國臣民ト同等ノ權利ヲ享有スヘク

三　産業生業職業及修學研究ヲ行フコトニ關スル一切ノ事項ニ付總テ最惠國ノ臣民又ハ人民ト同一ノ基礎ニ置カルヘク

四　内國臣民ト同一ノ方法ヲ以テ必要ナル家屋、製造所、倉庫、店舗及附屬構造物ヲ所有又ハ賃借シテ之ヲ使用シ且住居、商業、產業其ノ他適法ナル目的ノ爲土地ヲ賃借スルコトヲ得ヘク

五　國法ニ依リ別國ノ臣民又ハ人民カ取得占有スルコトヲ得又ハ得ルコトアルヘキ各種ノ動產及不動產ヲ相互ノ條件ニ依リ且常ニ該國法ノ定ムル條件及制限ニ反セサル限リ取得占有スルノ完全ナル自由ヲ享有シ内國臣民ニ對シテ制定セラレ又ハ制定セラルルコトアルヘキ所ト同一ノ條件ニ依リ賣買交換贈與婚姻遺言其ノ他ノ方法ニ因リ之ヲ處分スルコトヲ得ヘク又其ノ財產ノ賣得金及總テ其ノ動產ヲ國法ニ從ヒテ輸出スルノ自由ヲ享有シ外國人タルノ故ヲ以テ之カ爲同樣ノ場合ニ内國臣民ノ負擔スル所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル稅金ヲ課セラルルコトナカルヘク

六　其ノ身體及財產ニ對シテ常ニ完全ナル保護及保障ヲ享受シ其ノ請求及權利ヲ主張擁護セムカ爲自由且容易ニ裁判所其ノ他ノ官廳ニ申出ツルコトヲ得且内國臣民ト均シク右裁判所及官廳ニ於テ自己ヲ代理セシメムカ爲代言人及辯護士ヲ選擇使用スルノ完全ナル自由ヲ享有シ其ノ他司法ニ關スル一切ノ事項ニ付一般ニ内國臣民ト同一ノ權利及特權ヲ享有スヘク

七　内國臣民又ハ最惠國ノ臣民若ハ人民ノ納付シ又ハ納付スルコトアルヘキ所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル何等ノ租稅、手數料、課金又ハ貢納ヲ徵收セラルルコトナカルヘク

八　又保稅庫入ニ關スル便益、奬勵金及戻稅ニ關スル一切ノ事項ニ付内國臣民ト全ク均等ナル待遇ヲ享受スヘシ

第二條

兩締約國ノ一方ノ臣民ハ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ陸軍、海軍、護國軍又ハ民兵ノ何レタルヲ問ハス總テノ强制兵役ヲ免レ且服役ノ代トシテ課セラルル一切ノ貢納ヲ免レ又强募公債及軍用徵發又ハ取立金ニ付テハ不動產ノ所有者、賃

本文 8359 本文

借若ハ使用者トシテ内國臣民ト均シク課セラルルモノヲ除クノ外亦一切之ヲ免ルヘシ

前記ノ事項ニ關シ締約國ノ一方ノ臣民ハ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ最惠國ノ臣民又ハ人民ニ與ヘラレ又ハ與ヘラルルコトアルヘキ所ニ比シ不利益ナル待遇ヲ與ヘラルルコトナカルヘシ

第三條

兩締約國ノ一方ノ臣民カ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ有スル家宅、倉庫、製造所及店舗竝一切ノ附屬構造物ニシテ適法ノ目的ニ使用セラルルモノハ侵スヘカラス右建物又ハ附屬構造物ニ付テハ國内ノ臣民ニ對スル法定ノ條件及方式ニ依ルノ外臨檢搜索ヲ爲シ又ハ帳簿書類若ハ計算書ヲ檢査點閱スルコトヲ得ス

第四條

兩締約國ノ一方ノ他ノ一方ノ港、都市其ノ他ノ場所ニ總領事、領事、副領事及領事事務官ヲ置クコトヲ得但シ右領事官ノ駐在ヲ認可スルニ便ナラサル場所ニ付テハ此ノ限ニ在ラス尤モ此ノ制限ハ一切ノ他國ニ對シテモ亦均シク之ヲ加フルニ非サレハ一方ノ締約國ニ對シテ之ヲ加フルコトヲ得ス

右總領事、領事、副領事及領事事務官ハ駐在國政府ヨリ認可狀其ノ他相當ノ證認狀ヲ得タルトキハ其ノ職務ヲ執行シ且最惠國領事官ニ認許セラレ又ハ認許セラルルコトアルヘキ特權、特典及免除ヲ享有スルノ權利ヲ有スヘシ認可狀其ノ他ノ證認狀ヲ發給シタル政府ハ其ノ裁量ヲ以テ之ヲ取消スノ權利ヲ有ス但シ其ノ取消ヲ爲スニ付テハ之ヲ正當ト認メタル理由ヲ說明スヘシ

第五條

兩締約國ノ一方ノ臣民カ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ死亡シタル場合ニ死亡者ノ本國法ニ依リ相續財産ヲ收受管理スルノ權利ヲ有スル者其ノ地ニ在ラサルトキハ死亡者所屬國ノ當該領事官ハ必要ナル手續ヲ履行シタル上右死亡者財産所在地ノ國法ノ定ムル方法及制限ニ依リ該相續財産ヲ保管管理スルコトヲ得

締約國ノ一方ノ臣民カ他ノ一方ノ版圖外ニ於テ死亡シタルモ該版圖内ニ財産ヲ所有セル場合ニ相續財産ヲ收受管理スルノ權利ヲ有スル者右財産所在地ニ在ラサルトキハ亦前項ノ規定ヲ準用ス

死亡者ノ相續財産ノ管理ニ關スル一切ノ事項ニ付締約國ノ一方カ別國ノ領事官ニ現ニ許與シ又ハ今後許與スルコトアルヘキ權利、特權、恩典又ハ免除ハ締約國ノ他ノ一方ノ領事官ニ即時且無條件ニテ之ヲ及ホスヘキモノトス

第六條

兩締約國版圖ノ間ニハ相互ニ通商及航海ノ自由アルヘシ締約國ノ一方ノ臣民ハ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ外國通商ノ爲ニ開カレ又ハ開カルルコトアルヘキ一切ノ場所、港及河川ニ船舶及貨物ヲ以テ自由ニ到ルコトヲ得而シテ到達國ノ國法ニ遵由スルニ於テハ通商及航海ニ關スル事項ニ付内國臣民ノ享有シ又ハ享有スルコトアル所ト同一ノ權利、特權、自由、恩典、特典及免除ヲ享有スヘシ

第七條

兩締約國ノ一方ノ版圖内ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ハ他ノ一方ノ版圖内ニ輸入セラルルニ當リ其ノ何レノ地ヨリ到ルヲ問ハス別國ノ製產ニ係ル同樣ノ物品ニ適用セラルル最低率ノ關稅ヲ課セラルヘシ

締約國ノ一方ノ版圖内ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ハ他ノ一方ノ版圖内ニ輸入セラルルニ當リ其ノ何レノ地ヨリ到ルヲ問ハス別國ノ生產又ハ製造ニ係ル同樣ノ物品ノ輸入ニ對シテ均シク適用セラレサル何等ノ禁止又ハ制限ヲ加ヘラルルコトナカルヘシ但シ人畜又ハ農業上有用ナル植物ノ安全ヲ保障スルノ必要ニ基キタル衞生上其ノ他ノ禁止ハ此ノ限ニ在ラス

第八條

聯合王國ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ本條約附屬稅表第一號ニ列記スルモノハ日本國ニ輸入セラルルニ當リ該稅表ニ定ムル所ヨリ多額ノ關稅ヲ課セラルルコトナカルヘシ

日本國ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ本條約附屬稅表第二號ニ列記スルノハ聯合王國ニ輸入セラルルニ當リ關稅ヲ課セラルルコトナカルヘシ

但シ本條約實施ノ日ヨリ一年ヲ經過セタル後何時タリトモ兩締約國ノ一方カ該稅表中ニ修正ヲ加ヘムコトヲ希望スルトキハ其ノ希望ヲ他ノ一方ニ通告スルコトヲ得右通告アリタル上ハ本件ノ爲商議直ニ開始セラルヘク通告ノ日ヨリ六月以内ニ商議滿足ニ結了セサルトキハ通告ヲ與ヘタル締約國ハ本條廢棄ノ爲六月以内ニ商議滿足ニ結了セサルトキハ通告ヲ與ヘタル締約國ハ本條廢棄ノ爲六月ノ豫告ヲ一月以内ニ與フルコトヲ得而シテ右豫告期間ノ終了ト同時ニ本條ハ其ノ效力ヲ失フヘク之カ爲本條約ノ他ノ規定ニ影響ヲ及ホスコトナシ

第九條

兩締約國ノ一方ノ版圖内ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ他ノ一方ノ版圖ニ輸出セラルルモノハ其ノ輸出ニ當リ別國ニ輸出セラルル同樣ノ物品ニ對シ徵收スル所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル課金ヲ徵收セラルルコトナカルヘシ又如何ナル物品タリトモ締約國ノ一方ノ版圖ヨリ他ノ一方ノ版圖ニ輸出セラルルニ當リ同樣ノ物品カ別國ニ輸出セラルルニ對シテ均シク適用セラレサル何等ノ禁止又ハ制限ヲ加ヘラルルコトナカルヘシ

第十條

兩締約國ノ一方ノ版圖内ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニシテ他ノ一方ノ版圖ニ從ヒ其ノ版圖内ヲ通過スルモノハ直過スルト又ハ通過中荷卸及庫入ノ後更ニ荷積セラルルトヲ問ハス互ニ一切ノ通過稅ヲ課セラルルコトナカルヘシ

第十一條

國家、地方官廳又ハ自治體ノ利益ノ爲課セラルル内國稅ニシテ兩締約國ノ一方ノ版圖内ニ於ケル物品ノ生產、製造又ハ消費ニ影響シ又ハ影響スルコトアルヘキモノハ何等ノ理由ヲ以テスルモ他ノ一方ノ版圖内ノ生產又ハ製造ニ係ル物品ニ對シ同樣ノ内國品ニ對スルヨリモ多額ナル稅金又ハ課金ヲ課セラルルコトナカルヘシ

第十二條

兩締約國ノ一方ノ臣民ヵ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ住所ヲ有シ其ノ業ヲ營ム商工業者ハ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ本人自ラ又ハ旅商ヲ用ヒテ物品ヲ買入レ見本携帶又ハ不携帶ニテ注文ヲ取集ムルコトヲ得而シテ右商工業者及其ノ用フル旅商ハ買入ヲ爲シ又ハ注文ヲ取集ムル爲メニノミ當リ課稅及便益ニ關シテ最惠國特遇ヲ享受スヘシ

前記ノ目的ヲ以テ見本トシテ輸入セラルル物品ハ其ノ再輸出セラルヘキコト又ハ法定期間内ニ再輸出セラレサル場合ニ成規ノ關稅ノ納付セラルヘキコトヲ確實ナラシメムカ爲ニ制定セラレタル稅關法規及手續ヲ履行スルトキハ各締約國ニ於テ一時無稅輸入ヲ許可セラルヘシ但シ此ノ特權ハ物品ノ數量又ハ價格ニ徵シ見本ト認ムルコト能ハサルモノ又ハ其ノ性質上再輸出ノ際校合スルコト能ハサルモノニハ之ヲ與フルコトナシ見本カ無稅輸入ヲ許可セラルヘキモノタルト否トヲ決定スルハ何レノ場合ニ於テモ輸入地當該官廳ノ權内ニ專屬ス

第十三條

前條記載ノ見本ニ對シ其ノ輸出ノ際兩締約國ノ一方ノ稅關カ施シタル記號、極印又ハ印章ハ右見本ノ詳細ナル說明ヲ記載シ該稅關ノ檢給セル公ノ查證ヲ有スル目錄ト共ニ其ノ見本品タルコトヲ證明スルモノトシテ且該目錄列記ノモノタルコトヲ確認スルカ爲必要ナル外右見本ヲシテ檢查ヲ免レシムルモノトシテ互ニ他ノ一方ノ稅關官吏ヨリ承認セラルヘシ但シ其ノ特ニ必要ト認ムル場合ニハ更ニ記號ヲ該見本ニ施スコトヲ得

第十四條

商業會議所其ノ他締約國版圖内ニ於ケル公認ノ營業組合及商業組合ニシテ之カ爲權限ヲ付與セラレタルモノハ旅商ノ要スルコトアルヘキ證明書ノ發給權限ヲ有スルモノトシテ互ニ承認セラルヘシ

第十五條

兩締約國ノ一方ノ國法ニ從ヒテ設立セラレ又ハ今後設立セラルヘキ商工業及金融業ニ關スル有限責任其ノ他ノ會社及組合ニシテ該國版圖内ニ於テ登記セラレタルモノハ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ其ノ國法ニ違反セサル限リ權利ヲ行使シ且原告又ハ被告トシテ裁判所ニ出頭スルコトヲ得

第十六條

各締約國ハ適法ニ輸入セラレ又ハ輸出セラルルコトヲ得ル一切ノ商品ノ輸入又ハ輸出及其ノ版圖ヨリ又ハ版圖ヘノ旅客ノ運輸ヲ他ノ一方ノ船舶ニ認許スヘシ

右船舶、其ノ貨物及旅客ハ内國船舶、其ノ貨物及旅客ト同一ノ特權ヲ享有シ之ニ課セラルル所ト異ナルカ或ハ之ヨリ多額ナル稅金又ハ課金ヲ課セラルルコトナカルヘシ

第十七條

締約國ノ港灣、船渠及碇泊所ニ於ケル船舶ノ裝貨及貨物ノ積卸ニ關スル一切ノ事項ニ付テモ亦締約國ニ於テ兩國ノ船舶ヲ全ク均等ニ待遇スルノ意思ナルヲ以テ締約國ノ孰レノ一方メリトモ他ノ一方ノ船舶ニ對シテ同樣ノ場合ニ均シク許與セサル何等ノ特權又ハ便益ヲ自國船舶ニ許與スルコトナカルヘシ

第十八條

日本國ノ國法ニ從ヒ日本船舶ト認メラルル一切ノ船舶又ハ大不列顛國ノ國法ニ從ヒ大不列顛船舶ト認メラルル一切ノ船舶ハ本條約ノ目的ニ於テ日本船舶又ハ大不列顛船舶ト認メラルヘシ

第十九條

政府、官公吏、私人、團體又ハ各種營造物ノ名義ヲ以テ又ハ其ノ利益ノ爲ニ課セラルル順稅、港稅、水先案內料、燈臺稅、檢疫費其ノ他名稱ノ如何ニ拘ラス之ニ類似スル稅金又ハ課金ハ同樣ノ場合ニ同一ノ條件ヲ以テ均シク內國船舶一般ニ又ハ最惠國船舶ニ課スルモノニ非サレハ締約國ノ一方ノ港ニ於テ之ヲ他ノ一方ノ船舶ニ課スルコトナシ右均等ノ特遇ハ各締約國ノ船舶カ何レノ地ヨリ來リ又何レノ地ニ往クヲ問ハス相互ニ之ヲ實行スヘシ

第二十條

兩締約國ノ一方ノ定期郵便運送ノ任務ニ當ル船舶ハ他ノ一方ノ領水內ニ於テ同樣ノ最惠國船舶ニ許與セラルル特別ノ便益特權及免除ヲ享有スヘシ

第二十一條

兩締約國ノ沿岸貿易ハ本條約ノ規定スル限ニ在ラス日本國及聯合王國各自ノ國法ノ定ムル所ニ依ル但シ締約國ノ一方ノ臣民及船舶ハ本件ニ關シ他ノ一方尤モ日本船舶及大不列顛船舶ハ外國ヨリ實職シ來リタル旅客又ハ貨物ノ全部又ハ一部ヲ陸揚セムカ爲或ハ外國ヲ目的地トスル旅客又ハ貨物ノ全部又ハ一又締約國ノ一方ノ沿岸貿易カ內國船舶ニ全然留保セラルル場合ニ他ノ一方ノ船舶ニモ右留保セラレタル沿岸貿易ノ區域外ニ在ル地トノ貿易ニ從事スルモノハ該區域外ノ地ヨリ來リ又ハ之ニ到ルヘキ通シ切符ヲ所持スル旅客又ハ通シ船荷證券ヲ有スル商品ヲ前記締約國ノ一方ノ二港間ニ運輸スルコトヲ禁止セラレサルヘク且右運輸ニ從事スルニ當リ該船舶及其ノ貨物ハ總テ本條約ノ規定スル特權ヲ享有スヘキモノトス

第二十二條

兩締約國ノ一方ノ國籍ヲ有スル船舶ニシテ他ノ一方ノ領水內ニ在ルモノノ船員脫船シタルトキ脫船者囘收ノ爲該船舶所屬國ノ當該領事官ニ於テ一切之ニ

許可 8359 官報 明治四十四年五月六日

關スル費用ノ償還セラルヘキコトヲ保障シテ請求シタル場合ニハ地方官廳ハ國法ノ許ス限リ其ノ權内ニ在ル各般ノ援助ヲ與フルコトヲ要ス

右ノ規定ハ脫船地ノ國ノ臣民ニ關シテハ之ヲ適用セサルモノトス

第二十三條

兩締約國ノ一方ノ船舶ニシテ暴風又ハ偶然ノ事故ノ爲已ムヲ得ス他ノ一方ノ港ニ避難スルモノハ其ノ地ニ於テ修繕ヲ爲シ一切ノ需要品ヲ求メテ出港スルコトヲ得ヘク同樣ノ場合ニ內國船舶ノ納付スル所ト異ナル何等ノ稅金ヲ徵收セラルルコトナシ但シ商船ノ船長カ費用ヲ支辨スル爲其ノ商品ノ一部ヲ處分スルノ必要ヲ認メタルトキハ寄港地ノ規則及稅法ニ遵由スルコトヲ要ス

締約國ノ一方ノ船舶カ他ノ一方ノ沿岸ニ於テ擱坐シ又ハ難破シタルトキハ該船舶其ノ一切ノ部分、備付品、附屬品竝該船舶ヨリ救上ケラレ若ハ海中ニ投下セラレタル一切ノ貨物及商品又ハ此等物品中賣却セラレタル一切ノ書類ト共ニ所收得金ハ右擱坐又ハ難破シタル船舶內ニ發見セラレタル一切ノ書類ト共ニ所有者又ハ其ノ代理人ヨリ要求アリ次第之ヲ引渡スヘシ右所有者又ハ代理人現場ニ在ラサルトキハ難破又ハ擱坐ノ場所ヲ管轄區域內ニ包含スル日本國又ハ大不列顚國領事官ヨリ國內法ノ定ムル期間內ニ請求アリ次第之ヲ引渡スヘシ而シテ右領事官、所有者又ハ代理人ハ財產保存ノ爲要シタル費用ノ外內國船舶カ難破又ハ擱坐セル同樣ノ場合ニ於テ支辨スヘキ救護費其ノ他ノ費用ノミヲ支辨スヘシ

締約國ハ又救上ケラレタル商品カ內國消費ノ爲ニ引取ラレサル限リ關稅ヲ徵收セサルヘキコトヲ約定ス

船舶カ暴風ノ爲打寄セラレ、擱坐シ又ハ難破シタル場合ニ所有者又ハ船長其ノ他所有者ノ代理人不在ナルカ又ハ現場ニ在ルモ其ノ請求アルトキハ當該國ノ領事官ハ自國民ニ必要ナル援助ヲ與ヘムカ爲關與スルコトヲ得ヘシ

第二十四條

兩締約國ハ各締約國ノ通商、航海及工業ヲ最惠國ノ基礎ニ置クノ意思ナルニ因リ通商、航海及工業ニ關スル一切ノ事項ニ付其ノ一方カ別國ノ船舶又ハ臣民若ハ人民ニ現ニ許與シ又ハ今後許與スルコトアルヘキ一切ノ恩典、特權又ハ免除ヲ卽時且無條件ニテ他ノ一方ノ船舶又ハ臣民ニ及ホスコトニ同意ス

第二十五條

本條約ノ規定ハ各締約國カ專ラ國境ノ內外各側ニ於ケル一定地帶內ノ國境貿易ヲ便ナラシメムカ爲接壤國ニ許與スル關稅上ノ殊遇、締約國ノ內國民漁業ノ產物ニ許與セラルル待遇又ハ日本國ニ近接スル外國領水內ニ於テ捕獲採取セラレタル魚類其ノ他ノ水產物ニ關シ日本國カ許與スル關稅上ノ殊遇ニハ之ヲ適用セス

第二十六條

本條約ノ規定ハ批准書交換ノ日ヨリ二年以內ニ大不列顚國皇帝陛下ノ海外ノ領土、殖民地、屬地又ハ保護領ノ何レカノ爲大不列顚國皇帝陛下ノ東京駐箚代表者ヨリ加入ノ通告ヲ爲スニ非サレハ右領土、殖民地、屬地又ハ保護領ノ何レニモ適用セラルルコトナシ

第二十七條

本條約ハ批准ヲ要ス其ノ批准書ハ成ルヘク速ニ東京ニ於テ交換スヘシ本條約ハ千九百十一年七月十七日ヨリ實施シ千九百二十三年七月十六日迄效力ヲ有ス右期間滿了ノ十二月前ニ兩締約國ノ號レヨリモ本條約ヲ消滅セシムルノ意思ヲ他ノ一方ニ通告セサルトキハ本條約ハ締約國ノ一方カ其ノ廢棄ヲ聲明シタル日ヨリ一年ノ期間ノ滿了ニ至ル迄引續キ效力ヲ有ス

尤モ第二十六條ノ規定ニ依リ本條約ノ適用セラルルニ至リタル大不列顚國ノ領土、殖民地、屬地及保護領ニ關シテハ其ノ箇箇ニ付各締約國ハ何時ニテモ十二月ノ豫告ヲ以テ本條約ヲ終了セシムルノ權利ヲ有ス

大不列顚國ノ領土、殖民地、屬地及保護領ニ關スル本條及前條ノ規定ハ「サイプラス」島ニモ亦適用セラルルモノトス

右證據トシテ各全權委員之ニ署名調印ス

千九百十一年四月三日倫敦ニ於テ本書二通ヲ作ル

加藤高明　印

イー、グレイ　印

附屬稅表

第一號

日本國定稅率表ニ於ケル番號 | 品名 | 單位 | 稅率

二六六　ベーント
四　其ノ他
甲　一箇ノ重量容器共六キログラムヲ超エサルモノ　每百斤容器共　圓四二五
乙　其ノ他　每百斤　三三〇

二七五　亞麻繊絲
一　單撚ノモノ
甲　生ノモノ　同　八六〇
乙　其ノ他　同　九二五

二九八　繊織物
一　天鵞絨、プラッシュ其ノ他ノパイル織物（パイルヲ切リタルト否トヲ別タス）
甲　生地ノモノ　同　二五五〇
乙　其ノ他　同　三〇〇〇

七　平織布（別項ニ揭ケサルモノ）

甲　生地ノモノ

甲ノ一　百平方メートルニ付

五キログラムヲ超エサルモノニシテ五リメートル平方內ニ於ケル繊維ノ絲數

イ　十九ヲ超エサルモノ　同　一五、三〇〇
ロ　二十七ヲ超エサルモノ　同　二〇、七〇〇
ハ　三十五ヲ超エサルモノ　同　二八、七〇〇
ニ　四十三ヲ超エサルモノ　同　三八、〇〇〇
ホ　其ノ他　同　五一、三〇〇

甲ノ二　百平方メートルニ付

十キログラムヲ超エサルモノニシテ五リメートル平方內ニ於ケル繊維ノ絲數

イ　十九ヲ超エサルモノ　同　八、〇〇〇
ロ　二十七ヲ超エサルモノ　同　一〇、七〇〇
ハ　三十五ヲ超エサルモノ　同　一三、三〇〇
ニ　四十三ヲ超エサルモノ　同　九、三〇〇
ホ　其ノ他　同　乙　單ニ漂白シタルモノ

丙　其ノ他

九　其ノ他

甲　生地ノモノ

甲ノ一　百平方メートルニ付

五キログラムヲ超エサルモノニシテ五リメートル平方內ニ於ケル繊維ノ絲數

イ　十九ヲ超エサルモノ　同　一六、〇〇〇
ロ　二十七ヲ超エサルモノ　同　二一、三〇〇
ハ　三十五ヲ超エサルモノ　同　二九、三〇〇
ニ　四十三ヲ超エサルモノ　同　三九、三〇〇
ホ　其ノ他　同　五三、三〇〇

甲ノ二　百平方メートルニ付

十キログラムヲ超エサルモノニシテ五リメートル平方內ニ於ケル繊維ノ絲數

イ　十九ヲ超エサルモノ　同　八、〇〇〇
ロ　二十七ヲ超エサルモノ　同　一〇、〇〇〇
ハ　三十五ヲ超エサルモノ　同　一四、三〇〇
ニ　四十三ヲ超エサルモノ　同　一八、〇〇〇
ホ　其ノ他　同　二〇、〇〇〇

甲ノ三　百平方メートルニ付

二十キログラムヲ超エサルモノニシテ五リメートル平方內ニ於ケル繊維ノ絲數

イ　二十七ヲ超エサルモノ　同　八、〇〇〇
ロ　三十五ヲ超エサルモノ　同　一一、三〇〇
ハ　四十三ヲ超エサルモノ　同　一五、〇〇〇

許可 8359 号 官報

	二 其ノ他	同	一八、八〇
	甲ノ四 百平方メートルニ付三十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數		
	イ 二十七ヲ超エサルモノ	同	七、三〇
	ロ 三十五ヲ超エサルモノ	同	八、七〇
	ハ 四十三ヲ超エサルモノ	同	一一、三〇
	ニ 其ノ他	同	一四、七〇
	甲ノ五 其ノ他	同	一〇、〇〇
	乙 單ニ漂白シタルモノ	前記生地ノモノノ税率ニ毎百斤三圓ヲ加フ	
	丙 其ノ他	前記生地ノモノノ税率ニ毎百斤七圓ヲ加フ	
三〇一	毛織物、毛綿交織物及毛又ハ毛綿ト絹トノ交織物		
	二 其ノ他		
	甲 毛製ノモノ		
	ロ 一平方メートルニ付二百グラムヲ超エサルモノ	毎百斤	圓 五七、五〇
	ハ 一平方メートルニ付五百グラムヲ超エサルモノ	同	四五、〇〇
	ニ 其ノ他	同	四〇、〇〇
	乙 毛綿製ノモノ		
	ハ 一平方メートルニ付五百グラムヲ超エサルモノ	同	三〇、〇〇
	ニ 其ノ他	同	一八、〇〇
四六二	鐵		
	一 塊及錠		
	甲 銑鐵	同	〇、〇八三
	四 板		
	甲 金屬ヲ鍍セサルモノ		
	甲ノ三 其ノ他		
	イ 厚〇、七ミリメートルヲ超エサルモノ	同	〇、三〇
	乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ		
	乙ノ一 錫鍍シタルモノ（葉鐵及葉鋼）		
	イ 尋常ノモノ	同	〇、七〇
	乙ノ二 電鍍シタルモノ（波形ト否トヲ別タス）	同	一、二〇

第二號

一 染メサル又ハ捺染セサル純絹製羽二重
二 染メサル又ハ捺染セサル純絹製羽二重手巾
三 銅ノ塊及錠
四 麥稈其ノ他ノ材料ヲ以テ製シタル眞田
五 樟腦及樟腦油
六 竹製ノ籠（行李ヲ含ム）及編細工
七 藺草製莚
八 日本漆器
九 菜子油
十 七寶器

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕明治四十四年四月三日倫敦ニ於テ帝國全權委員カ大不列顚國全權委員ト共ニ署名調印シタル日英通商航海條約ヲ閲覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百七十一年明治四十四年五月四日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名　國璽

外務大臣　侯爵小村壽太郎

○訓令

内務省訓令第八號　府縣

明治四十四年度内務省所管歳出科目表ニ左ノ通增設ス

明治四十四年五月六日　内務大臣　法學博士男爵平田東助

一 歳出經常部府縣ノ款俸給ノ項中末位ニ賞與ノ目

朝鮮總督府訓令第四十號　朝鮮總督府監獄

統監府監獄分課及處務規程及監獄領置品取扱規程中「統監」ヲ「朝鮮總督」ニ改ム

明治四十四年五月一日　朝鮮總督　伯爵寺内正毅

○告示

鐵道院告示第三十七號

明治四十四年五月十一日ヨリ九州鹿兒島本線眞幸（まさき）停車場ニ於テ一般運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十四年五月六日　鐵道院總裁　男爵後藤新平

哩程

吉松眞幸間　四哩二分
眞幸吉松間　四哩六分

文部省告示第百七十三號

石川縣立工業學校

右ハ文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

明治四十四年五月六日　文部大臣　小松原英太郎

遞信省告示第五百三十五號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號寶塚局特設電話加入區域中左記箇所ヲ追加シ本月十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年五月六日　遞信大臣　男爵後藤新平

一 兵庫縣川邊郡長尾村大字中山寺、西谷村大字切畑字長尾山

朝鮮總督府告示第百二十號

平安北道定州郡守

明治四十四年三月三十一日附申請公立定州實業學校廢止ノ件認可ス

明治四十四年五月一日　朝鮮總督　伯爵寺内正毅

正誤

昨五日官報會計檢査院達第六號現業員共濟組合收入支出計算證明規程附則第七條二行三號ハ二號ノ誤別記書式中支出關欄上部ノ横線ヲ摘要欄斜線マテ延長シ該接續點下部ノ斜線ヲ削ル　會計檢査院書記官

○敍任及辭令

○明治四十四年五月五日

任拓殖局總裁　内閣書記官長正四位勳二等　柴田家門
兼任内閣書記官長　拓殖局總裁正四位勳二等　柴田家門
敍高等官一等

任新潟縣高田師範學校長　山口縣師範學校長正六位勳五等　小柳三郎
敍高等官四等
任山口縣師範學校長　廣島高等師範學校教授從五位勳六等　廣瀨爲四郎
敍高等官五等
任長野縣師範學校長　新潟縣高田師範學校長正六位　太田秀穗
敍高等官五等
任山形縣師範學校長　長野縣師範學校長從六位勳五等　柴垣則義
敍高等官五等
任新潟醫學專門學校教授　正六位醫學博士　池田廉一郎
敍高等官五等
京都府立醫學專門學校教諭ニ任ス　京都帝國大學醫科大學助教授從七位　副島豫四郎
群馬縣立高崎中學校教諭ニ任ス　栃木縣立宇都宮中學校教諭　岡島誘
鹿島郡立實科高等女學校長兼鹿島郡立實科高等女學校教諭ニ任ス　石川縣師範學校教諭　那波房太郎
佐賀縣立鹿島中學校教諭ニ任ス　休職群馬縣立高崎中學校教諭從七位　加藤直久
熊本縣女子師範學校教諭ニ任ス　休職福岡縣福岡師範學校教諭　是石慶次郎
免兼拓殖局總裁　内閣總理大臣兼大藏大臣拓殖局總裁公爵　桂太郎
免兼拓殖局副總裁　遞信大臣兼鐵道院總裁拓殖局副總裁男爵　後藤新平
御用有之歐米各國ヘ被差遣　京都帝國大學法科大學教授法學博士　織田萬
御用有之露領沿海州黑龍江州並露領樺太ヘ被差遣　農商務技師　寺崎渡
依願免本官　山形縣師範學校長　江尻庸一郎
願ニ依リ本職ヲ免ス　栃木縣立栃木中學校教諭　大澤繁八
御用有之韓國各地ヘ被差遣（以上五月五日内閣）　廣島縣農業技師　西田牧王
（各通）
統監府判事從四位勳四等　永島巖
統監府檢事正五位勳四等　向井巖
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳一等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
（各通）
統監府判事正五位勳四等　岩本以明
統監府檢事從五位勳五等　勅使河原健之助
統監府檢事從五位勳六等　鄕津友彌
大岡力
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳二等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
（各通）
統監府判事正六位勳六等　辻勇春
統監府判事正六位勳六等　前澤成美

第8359号 本文

統監府檢事正六位勳六等　大村　大代
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳三等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル

統監府判事從五位勳五等　戸田　忠正
統監府判事正六位勳六等　肥田　健吉
統監府判事六位勳六等　依田　弘
（各通）

統監府典獄從六位勳六等　富山要次郎
統監府判事從六位勳六等　岡本　正夫
統監府檢事從六位　柿原　琢郎
統監府判事正七位　山田　俊平
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳二等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル

統監府判事正七位勳六等　和田　純
統監府判事正七位　緒乘坊乱郎
統監府判事正七位勳六等　結城　朝陽
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳四等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル

（各通）

統監府裁判所書記長正七位勳六等　村上　唯吉
統監府裁判所通譯官從七位勳六等　深江　常吉
煙草專賣局主事補正七位　小幡　三郎
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳五等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル

統監府技師正七位　小野是一郎
統監府技師正七位　久保田兵助
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル

警視正七位勳六等　藤村源太郎
統監府檢事從七位勳七等　細田左代吉
統監府判事從七位　深江　常吉
（各通）

統監府檢事從七位勳六等　久保田兵助
統監府判事從七位勳七等　藤村源太郎
統監府判事從七位　細田左代吉
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル

統監府看守長　滿原　次郎
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル

統監府看守長　平方　清旭
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許
セラル（以上四月十三年八日賞勳局）

鳥取縣警視　鈴木　甚吉
福岡三池熊本佐賀長崎ノ各監獄へ出張ヲ命ス（以上五月四日司法省）

監獄事務官　眞木　喬
依願免司法官試補（以上五月四日司法省）

司法官試補　齋藤　實貧
大阪區裁判所檢事代理ヲ解ク

司法官試補　鬼頭　璽隆
（各通）

司法官試補　新納　蕉
大阪區裁判所檢事代理ヲ命ス（以上五月五日同）

司法官試補　末廣　清吉
東京高等師範學校東京帝國大學文科大學助教授　保科　孝一
言語學及語學教授法研究ノ爲滿二箇年間英國佛國及獨國へ留學ヲ命ス

山梨縣師範學校長在職中明治四十三年二月以後同年六月轉任迄ノ間ニ於テ元山梨縣師範學校書記小宮山正義同平賀清右衞門カ公金ヲ騙取シ之ヲ費消シタルニ心付カサリシハ部下監督周到ナラサルノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

沖繩縣師範學校長　森山辰之助
山梨縣師範學校長在職中明治四十三年二月以後同年六月轉任迄ノ間ニ於テ元山梨縣師範學校書記小宮山正義同平賀清右衞門カ公金ヲ騙取シ之ヲ費消シタルニ心付カサリシハ部下監督周到ナラサルノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

山梨縣師範學校長　西村　光彌
山梨縣師範學校書記小宮山正義同平賀清右衞門カ公金ヲ騙取シ之ヲ費消シタルニ心付カサリシハ部下監督周到ナラサルノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

山梨縣師範學校書記小宮山正義　岡本　正夫
山梨縣師範學校書記小宮山正義同平賀清右衞門カ公金ヲ騙取シ之ヲ費消シタルニ心付カサリシハ部下監督周到ナラサルノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

山梨縣師範學校書記小宮山正義　柿原　琢郎
山梨縣師範學校書記小宮山正義同平賀清右衞門カ公金ヲ騙取シ之ヲ費消シタルニ心付カサリシハ部下監督周到ナラサルノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

山梨縣師範學校教諭　山田　俊平
山梨縣師範學校書記小宮山正義同平賀清右衞門カ公金ヲ騙取シ之ヲ費消シタルニ心付カサリシハ部下監督周到ナラサルノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

山梨縣師範學校教諭　山本宗太郎
山梨縣師範學校長事務代理中元山梨縣師範學校書記小宮山正義同平賀清右衞門カ公金ヲ騙取シ之ヲ費消シタルニ心付カサリシハ部下監督周到ナラサルノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ明治四十年勅令第百七十七號ニ依リ譴責ス

高木安太郎
補第二高等學校生徒監（以上五月五日文部省）

第二高等學校教授　岩付　環
學術上取調ノ爲鹿兒島沖繩ノ二縣下及臺灣へ出張ヲ命ス（五月）

東京帝國大學理科大學教授理學博士　渡瀨庄三郎
學術上取調ノ爲鹿兒島縣下日光地方へ出張ヲ命ス

東京女子高等師範學校教授文學博士　關根　正直
東京女子高等師範學校教授生徒監　荻野仲三郎
（各通）

東京女子高等師範學校教授　喜多見すき
東京女子高等師範學校教授生徒監　平田　敏雄
東京女子高等師範學校教授　西島　富壽
東京女子高等師範學校教授生徒監　岩川友太郎
東京女子高等師範學校教授　荒木悌二郎
東京女子高等師範學校教授　西村　万壽
東京女子高等師範學校教授生徒監　下田　ふげ
東京女子高等師範學校教授　下田　次郎
東京女子高等師範學校教授　下村三四吉
東京女子高等師範學校生徒監　波佐谷美知
東京女子高等師範學校教授　宮川　壽美
學術實地指導ノ爲京都大阪奈良三重ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス（以上五月東京女子高等師範學校）

學術實地指導ノ爲京都大阪奈良三重ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス（五月四日第六臨時教員養成所）

第六臨時教員養成所教授　篠田　利英
學術實地指導ノ爲神奈川縣下鎌倉横須賀地方へ出張ヲ命ス

保科　孝一
學術實地指導ノ爲神奈川縣下三浦郡三崎地方へ出張ヲ命ス

東京高等師範學校教授
東京帝國大學文科大學助教授
（各通）

長崎縣立中學玖島學館教諭　大須賀鉄雄
學術實地指導ノ爲栃木縣下日光地方へ出張ヲ命ス

長崎縣立中學玖島學館教諭　清水　景靖
八級俸下賜（四月十日長崎縣）

十級俸下賜（但當分七百六拾圓）（以上四月十五日）

年俸三百圓下賜　茨城縣立農事試驗場技師　本多　菊吉
年俸七百圓下賜　水戸測候所技師　宇野　藤熊
年俸千五百圓下賜（以上五月五日茨城縣）

年俸參拾圓下賜（四月十四日愛知縣）　佐々木沖太郎
年俸六百圓下賜（四月十九日同）　愛知縣林業技師　三溝　讓平
十級俸下賜（但當分年俸七百貳拾圓支給）（五月滋賀縣）　愛知縣農業技師　梅原寅之助
十級俸下賜（四月十七日岐阜縣）　滋賀縣女子師範學校教諭　杉上　長造
十一級俸下賜（五月同）　岐阜縣大垣町立大垣商業學校教諭　木戸　周吉
十級俸（當分年俸七百五拾圓）下賜（以上五月一日和歌山縣）　和歌山縣立田邊中學校教諭　森　與一
十級俸（當分年俸七百貳拾圓）下賜　和歌山縣立田邊中學校教諭　深海　菊松
八級俸下賜（各通）　福岡縣立小倉工業學校長兼福岡縣立小倉工業學校教諭　藤川　勝九
福岡縣立中學明善校長兼福岡縣立中學修習館長兼福岡縣立中學修習館教諭　金澤　來藏
福岡縣立朝倉中學校長　秋吉　音治
六級俸下賜（各通）　福岡縣立八女中學校長　平井　政愛

八級俸下賜（以上四月二日福岡縣）　落合　寅平
五級俸下賜（四月二日宮崎縣）　宮崎縣立宮崎中學校長兼教諭
年俸千貳百圓下賜（四月十八日鹿兒島縣）　鹿兒島縣立農事試驗場技師　伊藤　賢三
年俸八拾圓下賜（四月十九日同）　鹿兒島縣林業技師　齊藤　良秀

○宮廷錄事

○皇族御發著　戰亡親王殿下ハ山梨縣下甲府へ御出張ノ處一昨四日御歸京相成リタリ

○彙報

○官廳事項

○日英難破船費用償還約定廢棄ニ關スル往復文　明治十一年十二月四日附及五日附公文ノ交換ニ依リ日英兩國間ニ締結セラレタル難破船費用償還約定ノ廢棄ニ關シ英國駐箚帝國大使ト英國外務大臣トノ間ニ左ノ通公文ノ往復アリタリ

千九百十一年四月三日附加藤大使往翰

以書翰啓上致候陳者千八百七十八年十二月四日附及五日附公文ノ交換ニ依リ日英兩國間ニ締結セラレタル難破船費用償還約定ノ廢棄ニ關シ英國外務大臣ト貴翰ヲ以テ通牒ヲ希望セラルル趣本日附貴翰ヲ以テ通牒致候

本大臣ハ千九百十一年七月十七日ヨリ該約定ヲ廢棄セムトスル日本帝國政府ノ提議ニ對シ大不列顛國皇帝陛下ノ政府ノ名ヲ以テ承諾ヲ表スルノ光榮ヲ有シ候因テ我政府ハ閣下ト本大臣トノ間ニ行ハレタル此ノ公文交換ヲ以テ兩國政府間ニ成立シタル合意ヲ記錄ニ留メタルモノト看做スヘク候

本使ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百十一年四月三日

サー、エドワード、グレイ閣下　加藤高明

千九百十一年四月三日附加藤大使往翰ニ對スル同日附英國外務大臣復翰

以書翰啓上致候陳者千八百七十八年十二月四日附及五日附公文ノ交換ニ依リ東京ニ於テ締結セラレタル難破船費用償還ニ關スル英日兩國間ノ約定ヲ日本帝國政府ニ於テ廢棄セムコトヲ希望セラルル趣本日附貴翰ヲ以テ通牒ニ接致悉候

本大臣ハ千九百十一年七月十七日ヨリ該約定ヲ廢棄セムトスル日本帝國政府ノ提議ニ對シ大不列顛國皇帝陛下ノ政府ノ名ヲ以テ承諾ヲ表スルノ光榮ヲ有シ候因テ我政府ハ閣下ト本大臣トノ間ニ行ハレタル此ノ公文交換ヲ以テ兩國政府間ニ成立シタル合意ヲ記錄ニ留メタルモノト看做スヘク候

本使ハ玆ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

千九百十一年四月三日　オーグレイ

○日英新通商航海條約談判中ノ聲明及說明　去月三日倫敦ニ於テ調印ノ日英通商航海條約ノ談判中若干ノ事項ニ付キ左ノ聲明及說明アリタリ

第一　新條約談判中兩國代表者間ニ左ノ聲明及說明ヲ交換セリ

舊外國人居留地ニ於ケル永代借地權者ノ地位ハ別商議ノ問題ト爲スコトニ兩國政府ニ於テ同意セルカ右永代借地權者ノ地位ニ關スル日英各政府ノ主張ハ新條約中該問題ニ言及スルコトナキノ故ヲ以テ何等影響ヲ受クルモノニ非サルコトニ一致セリ

又兩國政府ノ孰レノ一方タリトモ萬國工業所有權保護同盟條約ヨリ脫退セムト欲スルトキハ該條約規定ノ事項ニ付相互ニ兩國臣民ヲ保護セムカ爲他ノ一方ト取極ヲ締結スヘキコトニ一致セリ

新條約第二十一條中「港」ノ文字ハ單複孰レニ於テ用ヰラルルヲ問ハス外國通商ノ爲ニ開カレタル港ノ意味ナルコトニ一致セリ

第二　本邦新關稅定率法輸入稅表中ノ稅目及註ニ關シ帝國大使ヨリ左ノ說明ヲ與ヘタリ

一　商業上「スコアード」又ハ「ウオッシュド」ト稱セラルル綿織物ハ其ノ自然色ヲ保有スル限リ課稅上漂白シタルモノト認メス

許可 8359 号 大正

第 8135 9 号 本文

星ヲ以テ商標ノ要部ト認メタルモノナレハ彼我兩商標ニ於テ星ヲ要部トセル前審決ハ審査方針ニ反スルモノニアラス又請求人ノ云ヘルカ如ク被請求人登錄ノ稱呼ハS印若クハ星S印ニシテ請求人ノ登錄商標ハRY星又ハ星RY印ナルハ至當ナルヤモ知ルヘカラサレトモ實際ニ於テハ彼我兩商標ノ稱呼ハ請求人ノ云フカ如クナラスシテ甲第一號及第二號ノ如ク單ニ星印ナルヲ如何ニセン抑モ商標ノ稱呼ハ取引中自然ニ定マルモノニシテ論理研究ノ結果成立セシムルモノニアラス然シテ兩商標ニ對シ星印ナル稱呼ハ該商標權者竝ニ取引者ノ等シク用ユル處ナレハ所謂衆目ノ見ル處ト指ノ指ス處ニシテ動カスヘカラサル稱呼ナリ殊ニ商標ノ稱呼上ニ於ケル混同誤認ハ實際取引上ニ於ケル問題ニシテ机上ノ議論ニアラサルヲ以テ如何ニ理論上ニ於テ正當ナル稱呼モ實際ニ用ヒラレサルモノナレハ混同誤認ノ有無ヲ識別スル標準稱呼ト爲スニ足ラサルナリ故ニ請求人ノ主張ハ彼我兩商標ノ稱呼カ星印ナルコトヲ否定スル辯解トシテ價値ナキモノナリ要スルニ請求人ノ本抗告ハ其理由ナキモノトシテ原審決ノ通リ審決アリタシト云フニ在リテ原審進出ノ甲第一號證乃至第七號證ヲ援用シ新ニ別甲第一號證乃至第四號證ヲ提出シ且ツ證人訊問ノ申請ヲ爲シタリ

審決ノ理由

本件第一ノ爭點ハ被請求人專用ノ第一〇五七七號登錄商標ト請求人專用ノ第三五七八四號登錄商標ト相類似スルモノナルヤ否ヤニ在リ依テ之ヲ審案スルニ第一〇五七七號登錄商標ハ五稜星形ノ中央部ニSナル羅馬字ヲ結合シテ成リ又第三五七八四號登錄商標ハ五稜星形ノ中央部ニ二重輪ヲ畫キ其輪中ニRYナル羅馬字ヲ結合シテ成レルモノナリ然ルニ右兩商標ニ使用スル同一指定商品タル葡萄酒「ビール」「ブランデー」「シャンパン」「ウ井スキー」等ノ西洋酒ニ對シテ星形ノ圖形ヲ商標トシテ被請求人ノ商標出願當時卽チ明治三十年十一月頃ニ於テハ既ニ帝國內普通ニ行ハルヽ所ニ係リ特別顯著ノモノニアラサルコト敢テ立證ヲ要セスシテ顯著ナル事實ナリトス從テ本件兩商標ニ共通セル五稜星形ハ卽チ星形ナルカ故ニ之ヲ以テ兩商標ヲ甄別スヘキ主要部ナリト認ムルヲ得ス而シテ兩商標甄別ノ標識ト認ムヘキ主要部分ハ第一〇五七七號登錄商標ニ在リテハ五稜形ノ中央部ノSナル羅馬字ヲ結合シタル點ニ存シ又第三五七八四號登錄商標ニ在リテハ五稜星形ノ中央部ノ二重輪及其輪中ニRYナル羅馬字ヲ結合シタル點ニ存シ各其結合點ヲ以テ特別顯著ノモノナリト云ハサルヲ得ス次テ之ヲ對比的及離隔的ニ觀察ヲ下スモ其主要部タル結合點ニ於テ概觀相類似スル處ナク世人ヲシテ彼是混同誤認ノ虞ヲ生セシムルコトナシ然ルニ被請求人ハ甲第三號證ノ一、二(本件兩商標)ヲ以テ兩者ノ概觀類似スルコトヲ立證スト云ヘトモ叙上說明ノ如ク兩者ノ概觀類似ニアラスト認ムルヲ以テ此主張ハ採用スルコトヲ得ス第二ノ爭點ハ本件兩商標ノ稱呼ハ等シク星印ナルヤ否ヤニ在リ被請求人ハ商標ノ稱呼ハ取引上自然ニ定マルモノニシテ理論研究ノ結果ニヨリ成ルモノニアラス本件兩商標ニ對シテハ單ニ星印ナリト呼ヒ甲第一、二號證ノ如ク商標權者竝ニ取引者間ニ等シク用ヒラル、處ナリト主張スレトモ凡ソ商標ノ稱呼ハ商標自體ノ主要部ヨリ自然ニ生スルモノタルヲ要スルヤ論ヲ俟タサル處ニシテ卽チ本件第一〇五七七號登錄商標ハS印若クハS星印ト稱シ又第三五七八四號登錄商標ハRY印若クハRY星印ト稱スルヲ穩當トスヘク偶々取引者間ニ於テ單ニ星印ノ稱呼ヲ用ユルコトアリトスルモ直ニ之ヲ以テ商標自體ノ稱呼相等シキモノト云フヲ得ス故ニ此點ニ對スル被請求人ノ主張ハ其當ヲ得タルモノニアラス然ルニ原審決ノ趣旨茲ニ出サリシハ失當ニシテ本件抗告ハ其理由アリ此他當事者間ニ於テ右證據ヲ提出シ論爭スル處アルモ審決ニ必要ナキヲ以テ之レカ說明ヲ與ヘス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十八日於特許局

審判長 特許局長 中松 盛雄
特許局事務官 織田 了
特許局事務官 村上 隆吉

司法及警察

○特赦 福岡縣三潴郡木佐木村平民杉逸太郎、杉リエハ故殺ノ罪ニ因リ明治三十八年六月二十八日福岡地方裁判所ニ於テ各重懲役九年ニ處セラレ本人共ヨリ控訴ヲ申立テ同年九月八日長崎控訴院ニ於テ棄却セラレタルモ逸太郎ハ之ニ服セス上告ヲ申立テ同年十月二十四日大審院ニ於テ棄却セラレ各服役中リエハ同四十一年十二月二十三日、逸太郎ハ同四十二年三月十五日假出獄許可ノ處去月二十八日孰モ特典ヲ以テ放免セラレタリ

○辯護士名簿登錄換 岡山地方裁判所所屬辯護士杉原政一ノ請求ニ依リ本月二日東京地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登錄換ヲ爲セリ

○辯護士名簿登錄取消 水戶地方裁判所所屬辯護士板垣信有ハ死去ニ因リ本月二日所屬裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登錄ヲ取消セリ

○破產管財人任命 東京府士族正五位勳五等出浦力雄、同平民從五位勳五等桑田親五、長野縣平民從六位佐藤博愛、沖繩縣平民正七位成瀨復一、長野縣平民日能倍太郎、東京府士族小出鋤太郎、神奈川縣平民安齋林八郎ハ本月二日孰モ橫濱地方裁判所管內破產管財人ヲ命セラレタリ

○出火 本月三日午後七時東京府南多摩郡八王子町字新橫山ヨリ出火全燒一棟同時三十分鎭火同四日午前十時二十分同南葛飾郡小松川村字西小松川ヨリ出火全燒三戶同時五十分鎭火原因孰モ過失ナリ

○陸海軍

○不要徵兵終決處分者 鳥取縣ニ於ケル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中所在發見、滿四十歲超過等ノタメ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ(鳥取縣)

本籍	氏名	生年月日
氣高郡松保村大字良田村八	平井 藤藏	明治四、三、二四
西伯郡米子町大字大工町三七七五	加納 文市	二〇、九、一〇
同郡淀江町大字淀江宿二八七	青砥 常次郎	三、一〇、一三
同郡外江村四七二	高梨 岩市	一七、一〇、一一
同郡米子町大字天神町二ノ三六	長野 泰一	三、六、三
八頭郡伊井田村大字殿村無家	西田 春吉	二〇、一、一三

○軍艦發著 佛國軍艦「デュプレー」ハ柴棍ヲ發シ去月三十日長崎ヘ投錨セリ(長崎縣)

○學事

○帝室博物館來觀人員 東京、京都、奈良三帝室博物館去月中ノ來觀人員左ノ如シ(宮內省)

東京帝室博物館 博物館總數五万千八百六十九人內大人四万七千二百二人(內無料四百二十六人、特別展覽會優待券及特別入場券所持者千三百七十九人)、小兒二千百八十七人、學校生徒及敎員二千四百三十三人、特別縱覽人四十七人、動物園總數十二万八千九百四十二人內大人十万八千百十八人(內無料百十一人)、小兒一万六千八百十八人、學校生徒及敎員四千十三人、特別縱覽人一人

京都帝室博物館 總數二万七千七百六十三人內大人二万六千五百九十七人(內無料三十三人)、小兒四百九十九人、學校生徒及敎員六百五十八人、特別縱覽人九人

奈良帝室博物館 總數六千六百三十三人內大人五千二人(內無料十九人)、小兒百三十六人、學校生徒及敎員千四百七十八人、特別縱覽人十七人

○歌曲採用認可 滋賀縣ヨリ「水口尋常小學校唱歌(巖谷季雄作歌 江好次郎作曲)」ヲ水口尋常小學校用唱歌トシテ採用方文部省ヘ伺出テシニ依リ之ヲ認可セリ(文部省)

○留學生歸朝 文部省外國留學生東京帝國大學農科大學助敎授吉川祐輝ハ去月二十二日歸朝セリ(文部省)

○財政

○國債登錄額 大藏省ノ調査ニ係ル去月中ノ甲種登錄國債額ノ異動左ノ如シ(大藏省)

種別	前月ヨリ越高	登錄高	削除高	月末現在高
[illegible]公債	圓 六、三八八、三二五	圓 一	圓 一	圓 六、三八八、三二五
整理公債	三〇〇	一	三〇〇	一

種別	前月ヨリ越高	登錄高	削除高	月末現在高
軍事公債	二〇〇	一	二〇〇	一
五分利公債	一三四、八九三、九五〇	一八一、三〇〇	六〇〇、二〇〇	一三四、四七五、〇五〇
臨時事件公債	六九、〇一三、二五〇	一二一、一〇〇	七、七〇〇	六九、一二六、六五〇
第三回發行國庫債券	一、二三一、九七五	一	一、〇〇〇	一、二三〇、九七五
償還專賣法國庫債券	一一、四〇〇	一	一	一一、四〇〇
第一回四分利公債	五五、〇七〇、一五〇	四八九、一五〇	九五、一〇〇	五五、四六四、二〇〇
第二回四分利公債	五九、九一七、八〇〇	一、三一一、六〇〇	三〇〇	六一、二二九、一〇〇
合計	三三六、五一七、三五〇	二、一〇三、一五〇	七〇四、八〇〇	三三七、九一五、七〇〇

○產業

○東京蠶業講習所蠶況掃立報告 東京蠶業講習所本年ノ蠶況掃立報告左ノ如シ(農商務省)

春來ノ氣候ハ例年ヨリ稍〻暖氣ニシテ桑樹ノ發芽ハ平年ヨリ約十日進ミタルモ爾後ノ氣候ニ依リ掃立時期ハ二三日早マリタルニ過キス

今蠶種貯藏以後掃立ニ至ルマテノ概況ヲ擧クレハ左ノ如シ

蠶種ノ貯藏竝ニ催靑 蠶種ハ昨年十二月九日洗滌ヲ行ヒ其乾クヲ待チテ同十九日貯藏器ニ收メタリ其後ノ氣候ハ甚タ不順ニシテ本年二月中ノ如キ殊ニ不時ノ暖氣ニ遭遇シタルモ努テ之カ調節ヲ計リタル結果器內ノ溫度ハ比較的平順ヲ保ツヲ得タリ而シテ春來ノ氣候及桑芽發育ノ情況ニ鑑ミ去月十六日貯藏器ヨリ催靑室ニ移シ試驗用トシテ其早キハ同二十日以降其他ノ大部分ハ二十八日ヨリ掃立ヲ行ヒタリ之ヲ昨年ニ比スレハ七日早ク平年ニ比スレハ二三日早マレリ催靑中ニ於ケル天候ハ概ネ適順ニシテ且ツ溫暖ナリシヲ以テ火力ヲ用ヒタルコト甚タ少ク隨テ室內ノ乾濕其宜シキヲ得タリ卽チ此間ニ於ケル溫濕度左ノ如シ

蠶種貯藏期中溫濕度

月次	室外溫度 最高	最低	平均	室外濕度 最高	最低	平均	室內溫度 最高	最低	平均	室內濕度 最高	最低	平均	器內溫度 最高	最低	平均
十二月中	五〇	二五	三六・九	一〇〇	三七	七三・四	四八	三二	三八・四	一〇〇	六〇	八一・三	四二	三四	三七・六
一月中	五四	二二	三六・四	一〇〇	三二	七六・四	四五	二七	三六・三	八九	二三	七二・四	四四	三一	三六・五
二月中	六六	二四	四一・一	一〇〇	四二	七〇・七	五九	三〇	四一・七	九一	三一	七九・〇	四九	三三	四〇・七
三月中	六五	二七	四五・七	一〇〇	四〇	七六・三	六二	三三	四七・七	九一	七〇	七七・五	五四	三九	四六・六
四月中	七一	四五	五四・三	九二	四二	七二・六	六七	三五	五四・九	九三	三八	七五・〇	六六	四三	五四・二

催靑中溫濕度

月日	室外溫度 最高	最低	平均	室外濕度 最高	最低	平均	室內溫度 最高	最低	平均	室內濕度 最高	最低	平均
四月十六日	五五	五三	五三・七	一〇〇	八五	九〇・八	五六	五四	五四・五	九二	八五	八七・〇
十七日	五七	五六	五六・四	九三	八六	九一・〇	五六	五七	五七・八	九二	八六	八八・六
十八日	六二	五二	五八・四	六八	五〇	五九・四	五八	五三	五五・六	八六	六五	七二・二
十九日	六六	五〇	五八・四	六六	三九	五一・八	六一	四七	五六・二	七八	七四	七五・四
二十日	六七	五八	六二・八	七四	六九	七〇・八	六九	五七	六三・二	八〇	五八	七六・二
二十一日	六五	四七	五八・四	七五	四七	六三・六	六五	五七	六二・二	八七	六五	七五・四
二十二日	六八	五〇	六〇・八	七五	四六	五九・六	六七	五九	六二・八	七七	四二	六四・二
二十三日	七八	四七	六三・八	八四	四四	六四・八	七二	五九	六五・六	七六	六三	六七・三
二十四日	七四	五三	六六・〇	七八	五六	六六・八	七六	五九	六九・八	七四	六五	七〇・二
二十五日	六七	六〇	六二・八	一〇〇	八八	九三・四	七一	六八	七〇・〇	七八	七二	七五・六
二十六日	七六	五四	六七・六	一〇〇	六〇	七六・六	七三	六四	六九・四	七七	六九	七五・〇
二十七日	七五	五八	六七・四	八〇	六一	七五・〇	七二	六四	六七・八	八一	七二	七六・八
二十八日	七一	五一	六〇・〇	八六	四六	七二・三	六七	六七	六七・〇	六九	六九	六九・〇

桑葉ノ發芽竝ニ伸長 本年桑樹發芽ノ狀況ハ春來ノ氣溫高カリシタメ之ヲ平年ニ比スレハ約十日早ク以後ノ發育亦頗好ナリ

今左ニ破芭後蠶兒掃立ニ至ル間ノ狀況ヲ記スレハ左ノ如シ

月日	種別 多胡早生 葉數	葉長	葉幅
四月七日	破芭		
十六日	燕口		
十九日	三枚	五・六分	三・九分
二十二日	五	八・二	六・四
二十五日	六	一一・〇	九・八
二十八日	六	一三・五	一一・五
五月一日	六	一五・〇	一二・五

蠶兒ノ掃立 試驗用蠶兒ノ掃立ハ去月二十日乃至本月二日ニシテ講習生實習用蠶兒ハ去月二十八、二十九兩日ニ於テ之ヲ行ヘリ而シテ其收蟻量左ノ如シ

各種試驗用蠶兒	七三・四〇匁
講習生實習用蠶兒	四七・二〇
內	
本科三年生(支那六號)	一四・四〇
本科二年生(小石丸)	一七・六〇
本科一年生(靑熟)	一五・二〇

試驗 本年度春蠶期ニ於ケル試驗事項左ノ如シ

桑葉ノ成分ト蠶兒ノ發育及繭質トノ關係試驗(繼續)
桑質ト絲質トノ關係試驗
蠶種ノ高溫被害試驗
蠶ノ種類試驗(繼續)
原蠶種選拔試驗(同)
蠶兒飼育法試驗(同)
化性試驗(同)
採種法試驗(同)
同切繭製種試驗
春蠶種製造時期試驗
產卵試驗(繼續)
蠶蛆試驗(同)
微粒子病試驗(同)
膿病試驗(同)
蠶ノ種類ト蠶病トノ關係試驗(同)
硬化病試驗(同)
天蠶柞蠶病害調査(同)
消毒試驗(同)

○役員認可 齊藤政吉ハ八王子商業會議所會頭ニ、島村龍造同副會頭ニ、中村宗三郎、朝倉甚五郎、柴田彌市、長谷部良助、山崎與次郎、川口寬之助、大谷仁助同常議員ニ當選就任ノ件一昨四日認可指令セリ(農商務省)

○汽船「トロール」漁業 明治四十二年四月農商務省令第三號汽船「トロール」漁業取締規則ニ依リ許可證ヲ下付シタルモノ左ノ如シ(農商務省)

許可番號	第三十五號
住所	東京市芝區二本榎西町三番地
氏名又ハ名稱	倉光吉郎
船名	吉洋丸
操業區域	東經百三十度以西及北緯四十四度以北ノ禁止區域以外ノ海面竝ニ朝鮮海支那海
許可期間	許可ノ日ヨリ三箇年
條件又ハ制限	(一)汽船煙突ノ上端ヨリ煙突ノ直徑ニ等シキ距離以下四呎ヲ白色其以外ハ全部黑色トシ白色部ノ中央兩舷側ニ許可證番號ヲ黑色ノ亞剌比亞數字ニテ表記スヘシ但シ一數字ノ大サハ高サ一呎幅七吋以上タルヘシ、(二)操業ノ際在來ノ漁業ヲ妨害セサル樣注意スヘシ
許可年月日	明治四十四年五月三日

○鑛業事項 鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ(農商務省)

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
靜岡試登錄第二百十六號	靜岡縣磐田郡山香村地內	銅	八一〇、一六二坪	東京市京橋區銀座一丁目 原田虎作	四、四	試掘願許可

靜岡試登錄第二百十七號	同郡山香村、龍山村地內	同	四七五、二五五	同	上	四、四	同
靜岡試登錄第二百十八號	同上	同	六八二、五二三	同	上	四、四	同
靜岡試登錄第二百十九號	同郡龍山村地內	同	八七四、五〇〇	同	上	四、四	同
靜岡試登錄第二百二十號	賀茂郡中川村、岩科村、稻梓村地內	金、銀、銅、硫化鐵	六〇〇、〇一〇	靜岡縣賀茂郡仁科村	阿部敬光	四、四	同
群馬試登錄第百五十八號	利根郡東村地內	銅	二〇二、三四二	東京市麴町區八重洲町一丁目	古河鑛業會社	四、四	同
栃木試登錄第三百二十七號	上都賀郡足尾町地內	同	三八、八五五	同	上	四、四	同
栃木試登錄第三百二十八號	那須郡大山田村地內	金	五〇五、八〇〇	茨城縣多賀郡華川村	三浦兵藏	四、四	同
新潟試登錄第千六百六十六號	北蒲原郡金塚村、加治村地內	石油	四二三、八七七	新潟縣中蒲原郡金津村	中野合資會社	四、四	同
新潟試登錄第千六百六十七號	同郡黑川村地內	同	四〇一、四一七	同	上	四、四	同
新潟試登錄第千六百六十八號	古志郡東谷村地內	同	五三五、四四〇	同縣同郡新津町	江口工	四、四	同
新潟試登錄第千四百六十號	東蒲原郡豐實村地內	亞鉛	三二二、五一五	東京市淺草區永住町	山櫻鑛山合資會社	四、四	試掘鑛區增區願許可
茨城試登錄第百十號	久慈郡河內村、佐都村地內	銅、硫化鐵	四八五、四〇五	同市麻布區麻布三軒家町	山田龍	四、四	同
鳥取試登錄第六十二號	八頭郡社村地內	滿俺	四六、〇三四	兵庫縣佐用郡幕山村	野村貞	三、二八	試掘願許可
島根試登錄第二百三十二號	八束郡出雲鄕村、岩坂村地內	銅	二六二、〇二一	松江市母衣	弓削田千吉	三、二八	同
岡山試登錄第四百七十三號	川上郡大賀村地內	石炭	一一九、七六九	大阪市東區南久太郎町二丁目	杉村正太郎外一人	三、二九	同
德島試登錄第百七十五號	德島市及名東郡加茂名村地內	銅、滿俺	五四四、八八九	大阪市北區朝日町	船戶榮吉	四、一	同

○通運

○電報通數及料金　內地朝鮮及其他ノ各局所ニ於テ本年一月中取扱ヒタル電報通數及料金左ノ如シ（△印ハ減）（遞信省）

		內地	朝鮮	臺灣	樺太	清國（遞信省所管局）	清國（關東都督府所管局）	合計
通數 發信	內國電報	二、二三八、八七四	一六四、八二八	五五、六〇七	六、〇〇六	—	四〇、五一〇	二、五〇五、八二五
	日清電報	二一、九六九	三、七三七	九七	一	二、四一九	三三、九四六	六二、一六九
	外國電報	一九、八九四	三六九	九三五	三	—	二、七四二	二三、九四三
	計	二、二八〇、七三七	一六八、九三四	五六、六三九	六、〇一〇	二、四一九	七七、一九八	二、五九一、九三七
著信	內國電報	二、三三三、一四〇	一六〇、八五三	五〇、八七三	五、〇二九	—	四〇、四七八	二、五九〇、三七三
	日清電報	二六、四二二	三、四七五	一〇四	二	二、四五七	二七、四八九	五九、九四九
	外國電報	二三、七二八	七〇四	一、〇七九	三	—	二、八七八	二七、三九二
	計	二、三八三、二九〇	一六五、〇三二	五二、〇五六	五、〇三四	二、四五七	七〇、八四五	二、六七七、七一四
合計		四、六六四、〇二七	三三三、九六六	一〇八、六九五	一一、〇四四	四、八七六	一四八、〇四三	五、二六九、六五一
前年同月分		四、二四四、三七一	二七一、八三八	九二、七九一	七、三二九	四、二七四	一二六、一九九	四、七四六、八〇二
同上比較增減		四一九、六五六	六二、一二八	一五、九〇四	三、七一五	六〇二	二一、八四四	五二二、八四九
同上割合		割 〇・九九	割 二・二九	割 一・七一	割 五・〇七	割 一・四一	割 一・七三	割 一・一〇

	內地	朝鮮	臺灣	樺太	清國（遞信省所管局）	清國（關東都督府所管局）	合計
料金 內國電報料	圓 四七七、八七六	圓 四一、〇二一	圓 一六、〇〇四	圓 一、九三五	圓 —	圓 一三、〇七〇	圓 五四九、九〇六
日清電報料	九、一〇五	一、一六四	四二	一	九四四	一三、九五四	二五、二一〇
外國電報料	二六三、一八五	二、五三〇	四、四九一	六〇	—	八、〇四九	二七八、三一五
特殊取扱料	一二、〇二六	二七六	二〇〇	九	一	二四五	一二、七五七
合計	七六二、一九二	四四、九九一	二〇、七三七	二、〇〇五	九四五	三四、三一八	八六五、一八八
前年同月分	七二六、五九〇	四〇、八四二	一九、四五六	一、七六〇	九五六	二八、六八一	八一八、二八五
同上比較增減	三五、六〇二	四、一四九	一、二八一	二四五	△一一	五、六三七	四六、九〇三
同上割合	割 〇・四九	割 一・〇二	割 〇・六六	割 一・三九	割 △〇・一二	割 一・九七	割 〇・五七

○在外公館及商務官報告

○東清鐵道汽車發著時間變更　東清鐵道汽車發著時間變更ノ件ニ付キ哈爾賓駐在總領事川上俊彥ヨリ去月二十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

東清鐵道會社ハ例年ノ如ク來ル五月一日ヨリ改正夏期列車發著時間表ニ依リ列車ノ運轉ヲ爲スコトヽ爲レリ哈爾賓驛ニ於ケル急行列車及郵便列車ノ發著時間表左ノ如シ

哈爾賓驛列車發著時間表

方向	列車種別	發著日	著	發
東行（浦潮斯德方面）	急行	月、水、金	午前七時四十五分	午前八時五分
	郵便	每日	午後二時十分	午後三時
西行（歐露方面）	急行	月、木、土	午前九時五十五分	午前十時二十五分
	郵便	每日	午後五時三十分	午後六時三十分
南行（南滿洲方面）	郵便	每日	午後二時三十分（長春ヨリ著）	午前十一時二十分
	貨物	月、水、金	午前九時十分（同上）	午前六時二十分

（備考）西行急行列車中土曜日發ハ「ヴァーツカ」經由彼得堡ニ向フモノニシテ當地出發ノ日ヨリ起算シ九日目ノ午後四時三十分（八貫夜十二時三十分）同地ニ到著ス又月曜及木曜日發ノ分ハ莫斯科ニ向フモノニシテ當地出發ノ日ヨリ同シク九日目ノ午前九時十五分（八貫夜五時十五分）同地ニ到著ス」南行急行客車ハ月、水及金曜日午前十一時二十分發ノ郵便列車ニ連結セラレ哈爾賓驛ヲ發シ當日午後七時五十分寬城子驛ニ著シ又寬城子驛ヨリハ日、水及金曜日午後十時三十分發ノ貨物列車ニ連結其翌日午前九時十分哈爾賓驛ニ到著ス

○上海檢疫廢止　上海ニ於テ檢疫廢止ノ件ニ付キ同地駐在總領事有吉明ヨリ去月二十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

天津（塘沽ヲ含ム）及秦皇島ヨリ入港スル船舶ニ對シ爾今檢疫ヲ廢止スル旨本月二十日當地稅關ヨリ告示セリ

○齊々哈爾「ペスト」狀況　齊々哈爾ニ於ケル「ペスト」狀況ニ付キ在同地帝國領事館ヨリ去月二十二日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

當地「ペスト」ハ本月初旬僅ニ二名ノ新患者ヲ出シタルノミニテ今日マテ一名モ發生セス最早ヤ終熄シタルモノト認メラル

○祕露國「ペスト」患者及死者數　祕露國ニ於ケル「ペスト」患者及死者數ニ付キリマ駐在領事代理副領事相羽恆次ヨリ本年三月二十七日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（去月二十六日本欄內參看）（外務省）

病名	期間	リマ市 發生數	リマ市 死者數	カヤオ市 發生數	カヤオ市 死者數	其他 發生數	其他 死者數
「ペスト」	本年二月中	一八	八	一	二	一二六	四六
	本年一月以來累計	二六	一三	三	二	二二五	九七

○鐵嶺重要物産相場　鐵嶺ニ於ケル重要物産相場（自去月一日至同二十日）ニ付キ在同地帝國領事館ヨリ去月十四日及同二十日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（去月二十一日本欄內參看）（外務省）

品目	最高價格	日	金一圓ニ對スル銀相場	最低價格	日	金一圓ニ對スル銀相場
自四月一日至同十日	圓		圓	圓		圓
大豆	一一・一八〇	五	一・二八〇	一〇・五五〇	二	一・二八六
高粱	八・二一一	四	一・二八〇	七・一五〇	五	一・二八〇
小麥	一三・四七二	八	一・二八〇	一二・五〇〇	三	一・二八五
玉蜀黍	八・三三三	八	一・二八〇	八・三〇〇	五	一・二八〇
小豆	一二・五七〇	七	一・二八〇	一二・一〇〇	四	一・二八〇
豆餅（一塊）	一・三四〇	七	一・二八〇	一・二七〇	五	一・二八〇
自四月十一日至同二十日						
大豆	一一・二八〇	一九	一・二八五	一一・一八〇	一一	一・二八五
高粱	八・五〇〇	一九	一・二八五	八・〇八三	一六	一・二八五
小麥	一三・六一〇	一七	一・二八五	—	—	—
玉蜀黍	七・六六七	一六	一・二八五	—	—	—
小豆	一三・七五〇	一一	一・二八五	一二・九一六	一八	一・二八五
豆餅	一・三六〇	一九	一・二八五	一・三三五	一一	一・二八五

（備考）相場ハ清國小銀貨ヲ以テ表示シ鐵嶺斗量一石ニ對スル價格トス

四月十一日ヨリ同二十日ニ至ル期間ハ道路險惡ナルト不時ノ降雪等ニ起因シ集車輛數甚タ少ク多キモ一日二十輛ニ達セス皆無ノ日十日間ニ四五日アリキ尤モ原産地ニ於ケル數量ノ減少ト目下播種ノ時期ナルトニモ因レリ

○里昂生絲及羽二重市況　里昂ニ於ケル生絲及羽二重市況ニ付キ同地駐在副領事木島孝藏ヨリ本月三日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（去月二十二日本欄內參看）（外務省）

生絲市況橫濱高値ニ連レ引締リ氣味一番半器械絲九乃至十一「デニール」相場四十三法五十、一番半器械絲十三乃至十五「デニール」相場三十九法五十

羽二重閑散相場辛クモ保合ノ姿越前尺五、六付相場四十法見當

○伊國農産物價格　伊太利國ニ於ケル農産物價格ノ件ニ付キジェノバ駐在名譽總領事カナーリヨリ本年二月十三日附ヲ以テ報告アリタルニ付キ左ニ之ヲ譯載ス（外務省）

伊國ハ本來農業國ナルコト疑ナキモ以前ニハ同國每年農産物ノ正確ナル見積價格ヲ得ル能ハサリキ今般農務省ニ附屬シテ事務ヲ開始シタル農事檢定局ニ於テハ此闕點ヲ補フニ努メ今日マテハ單ニ概算ニ止マリタル同局調査ノ結果ハ國富增加ノ明證ト爲レルコト爭フヘカラス從前ハ伊國農産物價格ヲ知ルタメニハ各種ノ統計ニ依レリ

此種ノ最初ノ統計ハ千八百六十四年ノ伊國統計年鑑ニ揭ケアリテ伊國農産物全部（此內ニハ「ヴェネチー」、「マンツー」及「ラチウム」ヲ含ム）ハ二十八億四千二百万「リラ」ノ價ヲ示セリ

千九百四年マテノ伊國年鑑諸號中ニ揭載ノ報告ニ據レハ伊國農業總收入ハ約五十億ニ達セリ此數ハ平均價格ヲ一切ノ農林産物ト動物ヨリ生スル産物トニ配當シテ定メタルモノナリ千八百九十四年ノ見積價額左ノ如シ

	「リラ」
土地産物（秣ヲ除ク）	二、八七三、二二六、〇〇〇
森林産物	八八、〇〇〇、〇〇〇
動物産物	一、四二四、〇〇〇、〇〇〇
計	四、三八五、二二六、〇〇〇

然ルニ此統計中ニハ家禽、鳥卵、獵獲物ノ如キ他ノ動物産物ノ價格ヲ含マス果實及蔬菜ノ價格モ亦之ヲ含マス

此等生産物ノ全部ヲ算入スレハ伊國農産物總額ハ五十億「リラ」ヲ超過セル筈ナルコト疑ヲ容レス實際千八百九十八年及千九百年ニ於ケル土地産物價格ハ單ニ約二十六億四千万「リラ」ト見積ラレシニ千八百九十八年、千九百年及千九百四年ノ年鑑中ニハ前記ノ總額（即チ五十億？）ヲ認メリ又千九百四年ニ於テハ其價額三十四億二百万ニ昇レリ

實際右後者ノ見積ヲ基礎トセハ五十億ヨリ一層優大ノ數ニ達スヘク況ヤ果實、蔬菜、家禽、鳥卵、花、帽子用麥稈、刷毛用草根、手籠、甘草、油種、茸、「トラフ」、鞣皮用材料、「キルク」等ノ如キ幾多ノ産物ハ前記數額中ニ含マサルコトニ着目スルニ於テヲヤ又若シ芻秣ノ價額ヲ見積ルタメニ牛乳、羊毛等ノ形體ニテ動物ノ生スル産物ヲ基礎トセハ專ラ農事ニ使用セラルヽ家畜ノ消費スル芻秣ノ價格ヲ控除セサルヘカラサルコトハ之ヲ閑却スヘカラス故ニ算入スヘキ農産物ハ家禽、鳥卵、蜂蜜、果實等ヲ概略計上シテ四十四億四千五百万ニ減少セラルヘシ

農事檢定局ノ新統計ハ標本的地帶七十三箇所即チ幾多ノ府縣若クハ地方（山嶽、丘陵及原野）ノ未製産物ヲ基礎トシテ打算セリ此統計ハ伊國ヲ小別シテ六百箇所以上ニ涉レル農業地帶ノ全部ニ關スル報告ヲ得ルノ時期ニ於テ更ニ之ヲ精確ニスヘケレハ單ニ概算假設的ニ過キサルナリ是ニ於テ氣候、土壤及耕作法ノ差異ニ據レル數多地帶ノ各種産物間ニ比較ヲ立ツルハ大ニ興味アル所ナルヘシ

前述ノ見積ニ依レハ左ノ概略的結果ヲ得ヘシ

全産物價額（百万「リラ」ヲ以テ單位トス）

	北伊國	中伊國	南伊國及諸島	摘要
山嶽	五〇〇	三八〇	三三四	一、二二四
丘陵	七七五	八六七	一、二二三	二、八六五
原野	二、一〇九	七九	五三九	二、七二七
計	三、三九三	一、三二六	二、〇九五	六、八一六

前揭ノ見積ハ極テ愼重周到ニ之ヲ爲シタルモノニシテ全然概算的トハ看做スヘカラス然レトモ更ニ正確ナル基礎ヲ以テスル統計ニ於テハ右總産額ヨリ一層大數カ若クハ小數ヲ示スコトアルヘシ

尙ホ農業檢定表作製ノタメニシタル該統計表ハ植物及動物生産ヲ纖製スル農業ノ生産ヲ除ク外植物生産全部ニ對スルコトヲ認メサルヘカラス而シテ該農業ヨリ生スル價額ノ增加ハ絕對ニ概略的方法ヲ以テ計算シタルモノニシテ單ニ葡萄酒、油、繭及家畜ニノミ關セリ故ニ家畜ノ養殖及之ヨリ生スル家禽及鳥卵ノ如キ幾多ノ副産業ニ關スル計算ハ之ヲ省略セリ而シテ此等ノ極テ重要ナル産物ハ十五年前既ニ一億七千五百万「リラ」ニ上リ今日ニ於テハ內國消費竝ニ輸出（三千五百万ヨリ五千六百万マテ昇レリ）增加セルヲ以テ確ニ二億五千万ヲ超過セリ

茲ニ此價額ヲ附加スルトキハ伊國農産物ノ總價額ハ七十億ト豫算スルコト容易ナルヘシ

結局五十億ノ數ハ現在實際生産額ヨリ甚タ劣リ二十五年前ノ伊國農業狀況ニ稍々相應スルモノトシテ之ヲ捨棄セサルヘカラス

實際新國創立ノ宣言當時ニ於ケル伊國ノ農産價額三十億ナリトシ又其現在ノ價額約七十億ナリトセハ右價額ノ五十億タリシ中間時期ノアリシコトハ必ス之ヲ斷言セサルヘカラス

此七十億ノ數ハ前述ノ如ク極テ正確ナル統計ニ於テハ多少ノ變更アルヘシト雖モ概略現在實際生産價額ヲ示スモノナリトス

○米國向金澤産輸出羽二重不況原因　米國ニ於ケル金澤産輸出羽二重優等物賣行不況ノ原因ニ付キ紐育在勤商務官紫藤章ヨリ去月一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

當地ニ於ケル金澤産羽二重ハ本年一月以來其相場次第ニ低落シ二十七吋幅物四匁二五、四匁半ノ如キハ二仙ナラスシテ同シ六七十錢ノ差ヲ生シ三十六吋幅物ニ於テハ三十錢ノ差ヲ生セリ即チ左表ヲ以テ之ヲ知ルヲ得ヘシ

	二十七吋幅物相場 四匁二五	二十七吋幅物相場 四匁半	二十七吋幅物相場 四匁七五	三十六吋幅物相場 四匁	三十六吋幅物相場 五匁
一月二十五日	圓 九・四〇	圓 九・二〇	圓 九・六〇	圓 九・三〇	圓 八・九〇

第８３５９号　本文

○觀象

（備考）十ヲ付シタル數ハ風力ヲ示ス　氣溫ノ最高最低ハ前日ノ觀測ニ依ル　＊ヲ付シタル數ハ風力ヲ示ス

○全國氣象

五月五日

區別	觀測所	時	氣壓	溫度	風向	風速	雨量	天氣
第一區	東京	午前六時	三〇・〇	一六・八	南南西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・二	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・二				
		最低	三〇・〇	一六・八				
	銚子	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	一九・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	一九・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第二區	宮城野	午前六時	三〇・〇	一六・〇	東	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	東南東	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	石巻	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南東	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第三區	秋田	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	酒田	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第四區	新潟	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	伏木	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第五區	名古屋	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	四日市	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第六區	和歌山	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	神戸	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第七區	松江	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	下関	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第八區	福岡	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	佐賀	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第九區	長崎	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	鹿兒島	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
第十區	宮古	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	函館	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				
	寒川	午前六時	三〇・〇	一六・〇	西	一		晴
		午後二時	三〇・〇	二〇・〇	南南西	一		晴
		最高	三〇・〇	二〇・〇				
		最低	三〇・〇	一六・〇				

○全國天氣豫報

自五月五日午後六時至五月六日午後六時　二十四時間ノ天氣豫報

第一區　北ノ風、概ネ曇
第二區　北西ノ風、概ネ曇後晴
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　北西ノ風、後ヤ曇少雨後晴

○天氣概況

低氣壓ハ本州東海岸ノ沖合ト北海道ノ南東海岸ニ在リテ孰モ北東ニ進行スルヲ以テ北海道ニアハ昨日來氣壓著シク上昇シ今朝七百六十八粍以上ヲ示セリ

南西諸島及北海道ニテハ晴天ノ處多シト雖モ本州ヨリ九州ニ至ルマテハ一帶ニ雨降レリ朝鮮ハ一般ニ曇天ニシテ濟洲ハ概シテ天氣晴朗ナリ本邦北部ニテハ北西ノ風吹キ本州南東海岸ニテハ南西ノ風顯ル強ク風力强キ風ニ及ヘル處アリ氣溫ハ本邦北部ニ下降シタレトモ平年ニ比シ尚ホ各地トモ顯ル高シ

○暴風警報

五月五日午前九時二乃至四區ノ警報ヲ解ク

○東京氣象

五月四日

氣壓（海面ノ高サ一六・八度ニ於ケル平均ヲ以テ七三三・三粍ヲ基トス）

	平均	第一種	第二種	第三種	第四種	小包
氣壓	平均	七二九・二粍	七二九・五粍	七二九・二粍	七二九・二粍	七二九・二粍
溫度	平均（平年ヨリ一・八度高シ）	一六・三度				
	最高	一九・三度				
	最低	一二・九度				
風	平均	六・九米				
雨量	平均	九・二粍				
日照時間		六・二時				

○土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　內務省
事業ノ種類　河川改修
起業地　福井縣足羽郡丹生郡今立郡地內
右公告ス
明治四十四年五月六日　內閣總理大臣　公爵桂太郎

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府
事業ノ種類　學校改築
起業地　京都府葛野郡朱雀野村地內
右公告ス
明治四十四年五月六日　內閣總理大臣　公爵桂太郎

○村役場位置變更

紀伊郡納所村役場位置ヲ今般字納所町二百二十九番地ニ變更セリ
明治四十四年五月　京都府

中島郡大里村役場位置ヲ今般大字奧田字東屋敷四千四百七十八番四千四百七十二番ニ變更セリ
明治四十四年五月　愛知縣

高畠市役所位置ヲ今般同市宮元町十七、甲二十九、乙二十九、甲三十二、乙三十三、甲三十三、乙三十三、十四三十五、十八二十一番ノ四十九番ノ二十二番地ニ變更セリ
明治四十四年五月　群馬縣

○免狀遺失

第二一五號　乙種三等狩獵免狀　同上
第九九一號　同上
右ハ遺失ノ旨届出アリ
明治四十四年五月　知多郡內海町大字內海六百十四番戶　河口　平太郎
資飯郡片原村大字片原字石橋三十四番地　齋見　佐市

第一四號　乙種三等狩獵免狀　同上
第一一二號　同上
右ハ遺失ノ旨届出アリ
明治四十四年五月　南亘摩郡五箇村百十二番戶　深澤　義夫
同郡鄕川村百五十七番戶　辻　朝人

第八四六〇號　乙種三等狩獵免狀　同上
第二二二號　同上
右ハ遺失ノ旨届出アリ
明治四十四年五月　大分郡鶴崎町大字入藏　田尻　德太郎

○購買入札

明治四十四年五月

第一號	精米	六百八十石	直入郡庄溪村二千三百九番地　義夫
第二號	大麥	三万五千貫	同郡鄕川村百五十九番地　朝人
第三號	押麥	五十七石	大分郡鶴崎町大字入藏　田尻　德太郎
第四號	精米	二百二十石	右第十五師團高師屯在部隊納
第五號	大麥	二百貫	第十號　精米　三百六十四石
第六號	押麥	十八石	右第十五師團豐後屯在部隊納　大麥　三十三石

第七號	精米	百石	右第十五師團熊本屯在部隊納
第八號	押麥	四十七石	
第九號	精米	二百四十六石	右第十五師團濱松屯在部隊納
第十號	精米	三百六十四石	
第十一號	押麥	三十三石	
第十二號	精米	三百六十四石	以上兵第三十四聯隊富士裾野演習廠舍納

○生徒募集

本校豫科生約二百人、商業教員養成所生徒約十人（私費生）ヲ募集ス志願者ハ願書（用紙ハ本校ヨリ之ヲ交付ス）商業教員養成所志願者ハ履歷書、學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ニ合格シタル者ハ證書ヲ要ス）受驗料金五圓（商業教員養成所志願者ハ之ヲ除ク）及撮影ノ寫眞（寫面ニ氏名並ニ撮影ノ年月ヲ記ス）ヲ添（本月二十五日ヨリ同三十一日マテニ本校ニ提出スヘシ但シ脫期ニシテ手札差ニ際入學試驗豫科ハ左ノ如シ

英語（和文英譯、英文和譯）　數學（算術、代數）　化學　歷史　作文　書法

明治四十四年五月　東京高等商業學校

○不能還付郵便物

去月中當局管區內（東京、山梨、靜岡、千葉、茨城、栃木、群馬一府六縣）扱內國不能還付郵便物左ノ通アリ心當ノ者ハ當局總務部監督課又ハ莞出郵便局ニ申出テラレタシ

明治四十四年五月　東京遞信管理局

○廣告

官報　第八三五九號　明治四十四年五月六日（第三種郵便物認可）

許可 8359 5.6

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)、入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル旨市町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札前日マテニ當部ニ差出スヘシ
右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテ(執務時間內)ニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上本月二十日午前十時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス但シ郵便入札差支ナシ
此契約ハ第十五師團經理部長齋藤文賢擔任ス

明治四十四年五月六日　第十五師團經理部

一杉板割　五千枚
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
右購買ス入札望ノ者ハ當所ニ就キ入札心得書、契約書案及說明書等熟覽ノ上本月二十三日午前十時マテニ營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ當所ニ入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ海軍下瀨火藥製造所長事務取扱瀨錦之丞擔任ス

明治四十四年五月六日　海軍下瀨火藥製造所

一松材以下三廉
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十(圓未滿切上ケ圓止トス)、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月十三日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分同課ニ於テ開札ス
此契約ハ橫須賀海軍工廠會計部長窪田重弍擔任ス

明治四十四年五月六日　橫須賀海軍工廠會計部

一外國白米　二百石
一[illegible]麥　百石
以上入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ本月十八日マテニ當監獄ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上入札保證金ヲ添ヘ同十九日午後一時入札スヘシ即時當監獄ニ於テ開札ス
此契約ハ小菅監獄典獄千石學擔任ス

明治四十四年五月六日　小菅監獄

○工事請負入札

北海道網走線野付牛停車場構內假官舍其他新設工事
一丙號假官舍　建坪百四十四坪　一附屬井戶
一附屬共同湯殿　同約四坪　一同井戶屋形　一箇所　建坪約二坪
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
右請負望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書、契約書案、示方書、圖面及現場等熟覽ノ上本月二十二日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ鐵道院北海道建設事務所長稻垣兵太郞擔任ス

明治四十四年五月六日　鐵道院北海道建設事務所

一小蒸汽船大眞丸修繕請負工事　一式
入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、入札者ハ滿二年以來引續キ其業ニ從事シタル者ニ限ル
右請負望ノ者ハ本月十四日マテニ當關ニ就キ入札規則、契約書案及現場熟覽ノ上同十五日午前十一時限當關ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ門司稅關長笠原實太郞擔任ス

明治四十四年五月六日　門司稅關

北海道日高國浦河郡西舍村日高種馬牧場構內
一廐舍三棟、乾草舍一棟、井戶屋二棟　總建坪五百五十八坪
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、入札者ハ滿二年以來其業ニ從事シ且ツ直接國稅年額金五十圓以上(商事會社ハ拂込金額又ハ財產ヲ目的トスル出資價格五万圓以上、合名會社ニシテ以上ノ價格ニ達セサルトキハ合名會社ニ在リテハ其社員ノ一人、合資會社ニ在リテハ其無限責任社員ノ一人直接國稅年額金五十圓以上)ヲ引續キ二年以來納付シタル旨官公署ノ證明アル者竝ニ明治四十二年以降一廉ニ付キ入札金額ノ三分ノ一以上ニ相當スル建築工事ノ請負契約ヲ完全ニ履行シタル旨委托者ノ證明アル者ニ限ル
右請負望ノ者ハ日高種馬牧場ニ就キ入札手續、契約心得、仕樣書、圖面及現場等熟覽ノ上本月二十二日午前十時入札書ヲ同場ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ日高種馬牧場長山本愛三郞擔任ス

明治四十四年五月六日　馬政局

○入札拂下

第五號　壓搾機　一臺　第十號　汽罐　一箇
入札保證金見積代金百分ノ五、契約保證金落札代金百分ノ十(圓未滿切上ク)
右賣却ス買受望ノ者ハ當部ニ就キ拂下心得書、契約心得書熟覽ノ上本月二十二日午前十時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ印刷局長[illegible]之助擔任ス

明治四十四年五月六日　印刷局會計部

一木及竹屑外百十八點　廣島渡　本月二十二日入札執行
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
右賣却ス買受望ノ者ハ當局計理課廣島倉庫ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上當日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ西部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス

明治四十四年五月六日　西部鐵道管理局

一綿織外套八百箇外十四品
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
右賣却ス買受望ノ者ハ今六日ヨリ本月二十日マテ(執務時間內)ニ豐橋步兵第六十聯隊ニ就キ現品ヲ、當部ニ就キ入札心得書及契約書案等ヲ熟覽ノ上同二十二日午前十時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第十五師團經理部長齋藤文賢擔任ス

明治四十四年五月六日　第十五師團經理部

麴町區八重洲町元警視廳構內所在
一第二號第五號官舍留置所及跡鐵工場建物　十一棟　附屬物共
此建坪二百三十坪七合五勺
入札保證金各自見積價額百分ノ五以上、契約保證金契約金高百分ノ十以上
右賣却ス買受望ノ者ハ警視總監官房會計課ニ就キ仕樣書、圖面、入札人心得書、契約書案及現場等熟覽ノ上本月二十四日午前十一時限同課ニ入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ警視總監官房會計課長警視岡田由之助擔任ス

明治四十四年五月六日　警視廳

○林野賣拂

左記土地產物共特賣ス國有林野法第八條各號及同施行規則第七條各號ニ該當スル拂受望ノ者ハ實地熟覽ノ上明治三十二年八月農商務省令第二十五號國有林野法施行規則及同三十八年十二月同省令第三十三號不要存置國有林野賣拂規則竝ニ左記條項ヲ遵守シ青森大林區署長林務技師永田正吉ニ宛テ願書差出スヘシ

一　願書提出期間　本月三十一日限
二　願書ハ不要存置國有林野賣拂規則第五條ニ依リ一箇所每ニ一通トスヘシ
但シ本文願書ノ用紙ハ便宜所轄小林區署及市町村役場ニ配付セリ依テ出願人ハ最寄小林區署又ハ市町村役場ニ就キ請取ラルヘシ
三　願書ノ封皮ニハ必ス「第一回不要林野特賣願」ト朱記スヘシ
四　願書提出方法ハ郵便其他何等ノ方法ヲ以テスルモ妨ナシ
五　本公告中民有地道路河川等ニ介在スル十町步以內ノ箇所ヲ其接續所有者ヨリ出願スルトキハ其接續關係ヲ明ニシタル圖面ニ市町村長ノ證明ヲ受ケ之ヲ願書ニ添付スヘシ
但シ圖面添付ナキモノハ接續地關係ナキモノト看做ス

明治四十四年五月六日　青森大林區署

六　附帶義務アルモノハ買受人ニ於テ之ヲ繼承スヘシ
七　出願價格ハ錢位ニ止メ厘位ヲ付スヘカラス
八　社寺ノ出願ニ在リテハ縣知事ノ許可書寺院ノ出願ニ在リテハ所屬管長ノ添書ヲ差出スヘシ
九　買受代金ノ延納ヲ望ム者(買受代金個人ニ於テハ一口金五百圓以上、公共團體又ハ社寺ニ於テハ一口金三百圓以上ノモノニ限ル)ハ明治四十二年十一月勅令第三百十八號、同年同月農商務省令第五十五號國有林野產物及製品賣拂代金延納規則ニ依リ其願書ト共ニ提出スヘシ
十　本公告中下戾行政訴訟繫屬中ニ屬スルモノ又ハ下戾申請社寺境內編入若クハ讓與出願中ニ係ルモノハ其旨願書提出期間內ニ申告セラルヘシ

青森小林區部內
東第二三九號
陸奧國東津輕郡東平內村大字狩場澤字鍋差六二番ノ一國有原野
一實測面積四町九畝一八歩
一松三本　此材積五尺〆三八
一松二四本　同三〆七八
一小松四七本
同第一〇七〇號
同上東嶽村大字瀧澤字住吉一一二番國有原野
一實測面積一畝一五歩
同第一〇六九號
同上一一一番國有原野
一實測面積一畝二五歩
同第一〇六四號
同上二五番國有原野
一實測面積二段八畝一三歩
同第一〇七三號
同上二三一番國有原野
一實測面積二段五畝歩
同第一〇六七號
同上六九番國有原野
一實測面積八畝二五歩
同第一〇六三號
同上二〇番國有原野
一實測面積三畝一七歩
同第一〇六二號
同上一八番國有原野
一實測面積六畝二一歩
同第一〇六一號
同上九番國有原野
一實測面積八畝九歩
同第一〇七四號
同上二三六番國有原野
一實測面積五段五畝歩
同第一〇六五號
同上二九番國有原野
一實測面積五畝二〇歩
同第一〇六六號
同上三〇番國有原野
一實測面積一段五畝二二歩
同第一〇七一號
同上一二五番國有原野
一實測面積三畝歩
同第一〇六八號
同上八番國有原野
一實測面積六畝二一歩
同第一〇七二號
同上一三六番國有原野
一實測面積四畝二八歩
同第一〇八五號同四二六號
同上字下川原二〇六番二〇七番國有原野
一實測面積九段三畝四歩
同第一〇八三號
同上一八二番國有原野
一實測面積三畝九歩
同第一〇七六號
同上字小川平三番國有原野
一實測面積七段一畝六歩
同第一〇八〇號
同上字下川原九三番國有原野
一實測面積一六歩
一杉五本　此材積四尺〆七二
同第一〇八二號
同上一六八番ノ一國有原野
一實測面積六段五畝歩
同第一〇七八號
同上五二番國有原野
一實測面積三畝歩
同第一〇七九號
同上六二番ノ一國有原野
一實測面積三段一畝二六歩
同第一〇九一號
同上造道村大字造道字職野九六番國有原野
一實測面積三段四畝一一歩
同第一〇八七號
同上八六番ノ四國有原野
一實測面積五畝二九歩
同第一〇八九號
同上九三番國有原野
一實測面積一段一畝一歩
同第一〇九〇號
同上九四番國有原野
一實測面積五畝二歩
同第一〇八八號ノ一
同上九二番ノ內國有原野
一實測面積四段一畝二六歩
同第一〇八八號ノ二
同上九二番ノ內國有原野
一實測面積一町二段五畝二八歩
同第一〇八六號
同上字淨田四六番國有原野
一實測面積一段一畝六歩
同第一四號
同上野內村大字野內字浦島二四七番國有林
一實測面積九町一段七畝一五歩
一建築石材五九四五四〇〇切
一松一四六八本　此材積一〇〇八尺〆三三
一松三六七本　同九二〆六七
同第五一號
同上高田村大字入內字一ノ澤一番國有林
一實測面積一〇町三段六畝八歩
一松五本　此材積二尺〆三三
一松三本　同〇〆一三
東第一五〇號
同上高田村大字野澤字稻荷澤四六番國有原野
一實測面積九畝二八歩
同第一五七號
同上一六五番國有原野
一實測面積六畝一三歩
同第一六一號
同上一八二番ノ二國有原野
一實測面積二畝一〇歩
同第二九四號
同上東平內村大字狩場澤字稻懸八一番國有原野
一實測面積五段歩
同第二九二號
同上七九番國有原野
一實測面積六畝二六歩
同第二六五號
同上大字藥師野字川添五八番國有原野
一實測面積一段六畝二六歩
本地ハ畑トシテ本年三月マテ本村中新田樋太ニ貸付中
第四三號
同上造道村大字淨山字平野一三四番ノ一國有林
一實測面積一町八段九畝二歩
一杉八七本　此材積三三尺〆八九
一小杉三〇本
一ヒバ四本　此材積〇尺〆九五
一雜一四六本　同五〆七三
一小雜九五束
東第二九三號ノ內
同上東平內村大字狩場澤字稻懸八〇番ノ內國有原野
一實測面積六畝二六歩

蓬田小林區部內
第一號ノ內
陸奧國東津輕郡蓬田村大字瀨邊地字田浦三三九番ノ二號國有林
一實測面積二段三畝二八歩
第三一號ノ內
同上三八番ノ二號國有林
一實測面積二段五畝三歩
中里小林區部內
北第三二五號ノ內
陸奧國北津輕郡中里村大字宮川字霞二〇四番ノ內國有原野
一實測面積一段五畝一三歩
同第三二七號ノ內
同上二八四番ノ四號ノ內國有原野
一實測面積一段九畝一歩
喜良市小林區部內
北第三三九號
陸奧國北津輕郡金木村大字金木字玉水三〇番國有原野
一實測面積一畝八歩
同第二六號
同上三好村大字館ケ岡字福田二〇六番國有原野
一實測面積一段二畝三歩
同第二七號同二八號
同上二八番二二九番ノ二國有原野
一實測面積一町三畝二九歩
第六二號
同上榮村大字[illegible]字千島六四番國有原野
一實測面積四畝九歩
第六三號
同上六五番國有原野
一實測面積二畝二三歩
第三號
同上嘉瀨村大字嘉瀨字雲雀野三五一番國有上地林
一實測面積一段一畝一〇歩
一赤松四本　此材積一九尺〆三二
一雜四本　同二〆七七
北第八號
同上字元[illegible]山崎八八番國有上地林
一實測面積一四歩

(未完)

昨五日本欄內揭載靑森大林區署公告ノ續
第九八八號
同上字[illegible]深一九〇〇番ノ五國有林
一實測面積六町八段七畝十五歩
モミ百本　材積五百十三尺〆一五
トガ百十六本　同五百九十六尺〆二一
カレ三十三本　同七十四尺〆〇四
カヤ二本　同二尺〆一〇
ヤツ　同七百二十四〆六三
第九八九號
同上字坂ノ下一八九六番國有林
一實測面積十一町二段二畝十五歩
モミ百八十本　材積千三百三十七尺〆二七
トガ二百二十一本　同九百九十八尺〆二九
カレ百五十一本　同三百五十八尺〆三一
マツ二本　同十四尺〆三九
カヤ二本　同五尺〆六四

モミジ五本　同六尺〆五一
ケヤキ一本　同二尺〆五五
ザツ　同五百三十棚〇五
第九九〇號
一同上字小野ニ三三五番國有林
一實測面積九段十八歩
スギ八十六本　材積二十五尺〆四七
クス一本　同〇尺〆六六
マツ六十本　同百三十一棚四七
第九九一號
一同上字谷ノ内一三〇〇番國有林
一實測面積九段三畝二十一歩
スギ四百十四本　材積六百九十八尺〆二四
ヒノキ十四本　同五十九尺〆二〇
モミ一本　同一尺〆五九
マツ四本　同八尺〆四八
第九九二號
一同上字坂ノ下一八九九番國有林
一實測面積十五町八段一畝六歩
モミ三百十三本　材積千七百五十六尺〆〇六
トガ百三十六本　同五百九十八尺〆〇六
マツ二十九本　同百十六尺〆三〇
カヤ八本　同十七尺〆三九
カシ三十三本　同百三尺〆六九
モミジ九本　同二十七尺〆二六
ケヤキ八本　同二十一尺〆七二
ザツ　同三百二十七棚四七
第九九四號
一同上字山ノ田ヌ二三一五番國有林
一實測面積二町四段十八歩
スギ十五本　材積十尺〆二〇
マツ四本　同四十尺〆八〇
第九九五號
一同上字小立目三一四七番同三一八九番同三二六二番同三一八四番同三一九三番同三二六五番同三二二七〇番國有原野
一實測面積一町七段七畝十八歩
第九九六號
一同上字石舟二一九〇番ノ一同二一八六番ノ一字小屋谷二一九一番ノ一同二一九九番同二二〇三番國有原野
一實測面積九十八町一段二畝十八歩
マツ　材積二十棚〇〇
第九九七號
一同上字石舟二一八三番ノ一同二一八六番ノ二同二一九〇番ノ二國有原野
一實測面積三町一段十八歩
第一〇〇〇號
一同上字大谷一三五四番同一三五九番同一三六一番ノ二同一三四六番ノ一同一三四八番國有原野
一實測面積三町一段九畝十二歩
第一〇〇七號
一同上字大谷一三七二番同一三七四番同一三八四番國有原野
一實測面積二町五段三畝三歩

第一〇一一號
一同上字上板木一七五二番國有原野
一實測面積十七町四段歩
第一〇一二號
一同上字上板木一七五三番國有原野
一實測面積三十七町三段一畝六歩
第一〇一三號
一同上字余り一八二七番國有原野
一實測面積九町九段十八歩
第一〇一四號
一同上字坂ノ下一八八六番國有原野
一實測面積二十六町〇六畝九歩
第一〇二一號
一同上字谷ノ内一三一二番ノ二同一三一九番ノ二同一三二四番ノ二同一三一三番ノ二同一三二二番國有原野
一實測面積二町六段六畝十八歩
第一〇二三號
一同上大字江代字中尾二〇二四番國有林
一實測面積二十九町八段五畝十八歩
モミ百一本　材積五百五十尺〆〇八
トガ四百十一本　同千九百五十尺〆九八
カシ七十一本　同二百七十五尺〆一〇
ザツ　同七百九十棚二八
マツ三本　同四十尺〆一一
カヤ二本　同十二尺〆四五
第一〇二四號
一同上字上古川二三〇〇番國有林
一實測面積七町一段二畝十五歩
モミ二百五十六本　材積千三百二十八尺〆九九
トガ二百四十本　同千百八十五尺〆八〇
カシ百四十八本　同四百二十九尺〆九八
マツ二十二本　同百六十八尺〆二三
カヤ三本　同四尺〆五一
ザツ　同三百五十四棚一〇
第一〇二五號
一同上字白水一三六二番同一三六四番同一三六七番國有林
一實測面積四十一町一段二畝十五歩
モミ四十本　材積二百八十七尺〆六九
カヤ三十四本　同九十二尺〆五六
ケヤキ六十二本　同三百一尺〆七九
スギ一本　同六尺〆一七
トガ二千百二十二本　同九千九百五十三尺〆六二
マツ三百十四本　同二千七百八十四尺〆二七
カシ六百十九本　同二千四百八十七尺〆五一
ザツ　同千八百八十四棚七六
第一〇二六號
一同上字戸屋野七九一番ノ二國有林
一見込面積一段歩
スギ二十一本　材積六十四尺〆六七
第一〇二七號
一同上字戸屋野七九一番ノ三國有林
一見込面積一段五畝歩
スギ九十八本　材積三百九十六尺〆九〇

第一〇二八號
一同上字石森八一三番國有林
一見込面積一町歩
マツ　材積二十棚六四
ザツ　同五十棚〇〇
第一〇二九號
一同上字田迎一五七二番ノ二國有林
一見込面積六段五畝歩
スギ三百七本　材積二百七十尺〆一二
マツ三本　同八尺〆四九
トガ九本　同十三尺〆三九
カシ二本　同四尺〆三三
ザツ　同十棚〇〇
第一〇三一號
一同上字古屋敷一二七四番ノ一國有林
一實測面積一町三畝九歩
スギ八十九本　材積百九十六尺〆五二
ケヤキ二本　同四十六尺〆八九
カシ四本　同九尺〆七一
イテウ一本　同九尺〆〇三
ザツ　同七棚〇〇
ハチク五束五
第一〇三三號
一同上字上千ケ平一七五四番國有原野
一實測面積三十九町八段七畝十五歩
第一〇三四號
一同上字尾迎二一四五番國有原野
一實測面積十二町三段七畝十五歩
第一〇三五號
一同上字上古川二三一〇番ノ三國有原野
一實測面積三十七町九段三畝二十四歩
第一〇三六號
一同上字高尾野一〇九一番國有原野
一見込面積九町五段歩
第一〇三七號
一同上字魚歸一六二〇番國有原野
一實測面積八町六段十八歩
第一〇三八號
一同上大字湯山字芝ノ本二一四九番ノ一國有林
一實測面積六町八段五畝二十四歩
マツ百八十本　材積九百七十八尺〆一九
カシ百二十本　同百五十六尺〆六二
アスナロ八本　同十三尺〆一三
スギ四本　同一尺〆三九
モミ一本　同八尺〆六五
ザツ　同二百六十二棚四九
第一〇三九號
一同上字美尾谷二四八五番ノ一國有林
一實測面積五町三段四畝十二歩
マツ百九十八本　材積九百八十尺〆七七
カシ九十三本　同百七十尺〆七四
トガ二十四本　同九十一尺〆四八
ケヤキ一本　同一尺〆三二
ザツ　同二百六十棚四七
第一〇四〇號
一同上字美尾谷二四八三番國有林
一實測面積一町二段五畝歩
スギ二百四十本　材積四百九十九尺〆三一
モミ一本　同五尺〆一九
第一〇四一號
一同上字汗ノ原一四二番ノ一國有林
一實測面積七町八段五畝歩
マツ五十二本　材積百四十一尺〆七二
スギ八本　同四十七尺〆四四
カシ百一本　同百六十六尺〆九三
ザツ　同五百六十八棚二二
第一〇四二號
一同上字高平一三七三番國有林
一實測面積七段五畝歩
スギ二百九本　材積五百四十五尺〆〇五
第一〇五一號
一同國同郡須惠村字栗ノ迫四三三〇番同四二四八番ノ一國有原野
一實測面積一町六段八畝歩
第一〇五三號
一同上字栗ノ迫四二九〇番同四二六五番國有原野
一實測面積二町九段六畝歩
第一〇五九號
一同上字大山ヌ一六六六番國有原野
一實測面積一町八段歩
マツ　材積三棚七九
第一〇六六號
一同上字櫛木三五六七番同三五七〇番同三五六三番同三五六一番同三五五七番同三五五四番同三五五五三番同三五五二番國有原野
一實測面積一町三段歩
ザツ　材積一棚二五
マツ　同〇棚七七
（未完）

〇商業登記

株式會社登記簿第一冊第六號
横濱正金銀行登記事項中左ノ通變更
(十)取締役戸次兵吉ハ明治四十四年三月九日其住所ヲ横濱市青木町千八百二十番地ニ移轉シ明治四十四年三月十日株主總會ニ於テ取締役相馬永胤、園田孝吉、木村利右衛門、原六郎、山川勇木、小田切萬壽之助、三島彌太郎、川島忠之助、戸次兵吉ハ再選東京市牛込區市ケ谷加賀町二丁目十三番地井上準之助、東京市芝區高輪南町三十五番地岩崎小彌太ハ取締ニ選擧セラレ明治四十四年三月十五日何レモ就任シタリ明治四十四年三月十日株主總會ニ於テ監査役淺田德則、若尾民造ハ再選セラレ明治四十四年三月十日就任シタリ

右明治四十四年四月十二日登記

株式會社登記簿第一冊第十二號
一　商號　株式會社安東銀行
二　本店　清國安東縣五番通六丁目三番地
三　支店　ナシ
四　目的　銀行業
五　設立ノ年月日　明治四十四年三月四日
六　資本ノ總額　金十五万圓
七　一株ノ金額　金五十圓
八　各株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢
九　公告ヲ爲ス方法　在安東日本領事館カ商業登記ヲ公告スル新聞紙ニ一日間公告ス
十　取締役ノ氏名住所　清國安東縣興隆街一號地渡邊喜八郎、清國安東縣大和橋通六丁目四番地河合芳太郎、清國安東縣四番通四丁目二番地藤谷房之助、清國安東縣市場通五丁目二番地高橋貞二、清國安東縣市場通五丁目四番地渡邊末吉郎
十一　監査役ノ氏名住所　清國安東縣右堂前街二十五號福島熊一、清國安東縣二番通五丁目二番地荒川六平、清國安東縣四番通七丁目四番地飯島秀享
十二　存立ノ時期又ハ解散ノ事由　設立ノ日ヨリ滿二十箇年解散ノ事由ナシ
十三　開業前ニ配當スヘキ利率　ナシ
右明治四十四年四月二十六日登記

株式會社登記簿第一冊第十三號
一　商號　株式會社安東貯金銀行
二　本店　清國安東縣五番通八丁目二番地
三　支店　ナシ
四　目的　貯蓄銀行業
五　設立ノ年月日　明治四十四年二月一日
六　資本ノ總額　金十万圓
七　一株ノ金額　金五十圓
八　各株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢
九　公告ヲ爲ス方法　在安東日本領事館ノ公告ヲ爲ス新聞紙ニ掲載ス
十　取締役ノ氏名住所　安東縣五番通八丁目二番地藤平泰一、富山縣高岡市油町二十六番地藤平利兵衛、安東縣五番通八丁目二番地藤平伊織、安東縣右堂前街十三號地石原正太郎、安東縣市場通四丁目一番地山田造酒治、安東縣市場通三丁目三番地式村茂、安東縣五番通七丁目三番地田仲角平、安東縣二番通四丁目四番地杵淵孫藏
十一　監査役ノ氏名住所
十二　存立ノ時期又ハ解散ノ事由　會社設立ノ日ヨリ滿二十箇年解散ノ事由ナシ
十三　開業前ニ配當スヘキ利率　ナシ
右明治四十四年四月二十六日登記ス

在清國安東
帝國領事館

株式會社横濱正金銀行取締役井上準之助ハ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市芝區葺手町二十五番地二號
明治四十四年四月十九日登記
右公告ス

在清國上海
帝國總領事館

株式會社生秀館登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役川端茂章ハ明治四十四年三月十五日退任シ同四十四年三月二十五日更ニ新任ス
東京市小石川區下宮坂町十九番地　川端茂章

合資會社登記簿第三八冊第一八四五號
一商號　日本硬質硝子製造合資會社
一本店　東京市淺草區玉姫町百八番地
一目的　硝子製造賣買及之ニ關聯スル事業ノ經營
一設立ノ年月日　明治四十四年四月二十三日
一代表社員ノ氏名　田中李次郎
一存立ノ時期及解散ノ事由　存立時期　自明治四十四年四月二十三日　至同七十四年四月二十二日　滿三十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金五千圓　無限　東京市赤坂區青山南町六丁目百二十七番地　田中李次郎
金一千圓　有限　同市淺草區今戸町六十四番地　小川宗七
勞務　無限　同市同區玉姫町百八番地　中野常次郎

合資會社資金融會登記事項中左ノ如ク追加ス
一解散ノ事由及年月日　總社員ノ同意ニ因リ明治四十四年四月二十日解散ス
一清算人ノ氏名住所　東京市牛込區簞笥町二十番地　推谷久男

一立川總吉ノ支配人酒井志郎、南次郎吉、清野彌助ヲ明治四十四年三月三十一日各々解任セリ

株式會社工商銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十四年四月十一日左者ハ監査役ニ就任ス
東京市日本橋區小傳馬上町十五番地　猪瀨金藏
一明治四十四年四月十一日千葉縣東葛飾郡松戸町松戸一丁目千九百六十七番地支店ヲ廢止セリ

加富登麥酒株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十四年四月十五日左者取締役ニ就任ス
東京市下谷區北稻荷町十一番地　杉原榮三郎
同市麻布區市兵衛町二丁目八十四番地　大丸鉄太郎

足尾鐵道株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
東京市京橋區築地明石町六十二番地　岡崎邦輔
群馬縣山田郡大間々町大字大間々町第千四百六十番地　中島宇三郎

明治金融合名會社登記事項中左ノ如ク追加ス
一解散ノ事由及年月日　總社員ノ同意ニ因リ明治四十四年四月二十四日解散ス
一清算結了ノ年月日　明治四十四年四月二十四日

日本製粉株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十一年四月十五日登記シタル擔保附社債金三十五万圓ハ明治四十四年四月十七日其全部ヲ償還シタリ

東洋煉炭株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一清算人衛藤介ハ明治四十四年四月十日辭任セリ

日本橋區商號登記簿第十冊第四五四號
一商號　神戸帳簿店
一營業ノ種類　帳簿ノ製造販賣
一營業所　東京市日本橋區箱崎町一丁目北新堀河岸二十五號地
一商號使用者ノ氏名住所　東京市日本橋區箱崎町一丁目北新堀河岸二十五號地　北澤清一郎
右明治四十四年四月二十四日登記

東京區裁判所

株式會社本所銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役中澤恆吉ハ明治四十四年四月二十四日辭任シ左者同日取締役ニ就任ス
東京市麴町區飯田町六丁目二十一番地　君塚順之助
一取締役酒井仙順ハ同年四月十五日其住所ヲ東京市牛込區山吹町十六番地ニ移轉セリ

東京移轉株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金十五圓ト變更セリ

天龍運輸株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役左者明治四十四年四月二十日重任ス
靜岡縣濱名郡中ノ町村萱場十八番地　金原鐵平
同縣同郡和田村永田二十一番地　鈴木平十郎
同縣磐田郡掛塚町二百四十一番地　池田藤七

官報　第八三五九號　明治四十四年五月六日（第三種郵便物認可）

○華族世襲財産

一甲種登錄五分利公債金額四万四千圓
一記名五分利公債證書金額二千五十圓
右世襲財産ト爲シタキ旨願出テタル處内大臣ヨリ遞セラル依テ該財産ニ對シ故障アル向又ハ記番號承合セラレタキ向ハ來ル六月八日マテニ當銀行へ申出テラルヘシ
明治四十四年五月二日　公爵九條道實所有

一甲種登錄四分利公債金額一万三千五百圓
一甲種登錄五分利公債金額二万三千三百圓
右世襲財産ト爲シタキ旨願出テタル處内大臣ヨリ遞セラル依テ該財産ニ對シ故障アル向又ハ記番號承合セラレタキ向ハ來ル六月八日マテニ當銀行へ申出テラルヘシ
明治四十四年五月二日　子爵松平忠敏所有
同上　子爵青山忠誠所有
子爵松平定晴所有
日本銀行

○株券燒失

一當銀行株券第四九叁八壹號
右燒失ノ旨届出ニ付キ來ル六月十日マテニ發見セサルトキハ無效トス
明治四十四年五月六日
杉田半次郎殿名義一通
日本銀行

正誤

去月二十九日官報附錄本欄叅業組合登記ノ項中三次區裁判所ノ部四行五百四十五番地ハ五百四十番地ノ誤モ誤植

本月三日同長岡區裁判所見附出張所ノ部四十四行大字長田ハ大字反田十五行九十番戸ハ九十五番戸ノ誤植

○東京中央郵便局外國郵便締切時限

本月九日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「エンプレス、オブ、インディア」號ヲ以テバンクーバー經由歐米へ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通（普通	中央局	市内集配局	小包
常（書留	九日午前七時	八日午後十時	八日午後八時
價格表記	同日午前六時半	同上	同日午後六時
（備考）	小包ハ加拿陀及歐洲等宛英國小包トス	同上	爲（聯合
			替（特別

同十日横濱マテ汽車便送同地ヨリ丹波丸ヲ以テシアトル經由歐米（差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切

通（普通	中央局	市内集配局	小包
常（書留	十日午前十時半	十日午後八時	九日午後八時
（備考）	同日午前十時	同上	爲（聯合
	小包ハ北米合衆國及加拿陀宛トス		替（特別

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一加拿陀經由歐米諸國宛	九、十九、三十日頃締切ノ筈
一シアトル經由同	十、二十四日頃締切ノ筈
一布哇及桑港經由同	十六、二十三、三十日頃締切ノ筈
一タコマ經由同	二十七日頃締切ノ筈
一ポートランド經由同	三十日頃締切ノ筈

西伯利經由ノ歐洲諸國（南米（日曜日ヲ除ク毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス力速達ヲ得ヘシ
（亞國除ク、伯剌西爾、智利、巴（木曜日ヲ除ク毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス力速達ヲ得ヘシ
拉圭及烏爾圭宛）
上海、香港並ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス力速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行

三島丸（新船）　本月十日正午十二時横濱出帆同十三日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞倫敦ブントワープ行

丹波丸　來廿日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行
濠洲行
八幡丸　本月二十七日正午十二時横濱出帆同三十日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、水曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行
上海、香港行
春日丸　明七日午前十時横濱出帆本月九日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
博愛丸　本月十一日午前十時横濱出帆同十三日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
朝鮮、北清方面行
鬱口丸　本月十一日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝栗、大沽、牛莊行
竹島丸　同十八日午前十時神戸出帆門司、大連、芝栗、大沽、牛莊行
酒田丸　同十九日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行
臺灣行
信濃丸　毎月神戸發正午十二時（十二日 門司發午後四時 基隆着翌曉（十三日
鐵嶽丸　毎月神戸發正午十二時（四日 門司發午後四時（五日 基隆着翌曉（六日
傑次行
上川丸　本月十一日午前十時頃横濱出帆同十二日午後四時小樽出帆大泊、眞岡行
立神丸　本月十四日午前十時神戸出發門司、長崎、釜山、元山、清津、浦潮斯德行
浦潮斯德行
本州、北海道連絡線
每日（午後八時半 肯島發 室蘭着
（午後五時 室蘭發 翌朝五時半 宮島着
○大阪商船株式會社汽船出發表

朝鮮行

錦州丸　本月九日午前十時神戸出帆門司（下關）、仁川（京城）、鎭南浦（平壤）、龍岩浦（新義州）安東縣行
信濃川丸　同十日午後一時神戸出帆門司（下關）釜山、馬山、木浦（群山、仁川（京城）行
濕州丸　同十一日午前十時神戸出帆門司（下關）、仁川（京城）、鎭南浦（平壤）、龍岩浦（新義州）安東縣行
神宮丸　同十四日正午十二時神戸出帆宇品、門司（下關）釜山、元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
淸國行
天草丸　明七日午後四時神戸出帆翌八日午後四時宇品出帆門司、大連行
大智丸　本月十一日午前十時神戸出帆門司天津行
（天津行ハ白河ヲ溯航シ居留地岡ニ繫舟ス）
開城丸　同日午前十時神戸出帆翌十二日午後一時門司出帆大連行
嘉義丸　同十五日午前十時神戸出帆翌十六日午後一時門司出帆大連行
蓬萊丸　同十八日午前十時神戸出帆翌十九日午後一時門司出帆大連行
米國行
かなだ丸　本月十六日午後横濱出帆ビクトリア、シアトル、タコマ行
ころんびあ丸　同十九日午前横濱出帆神戸、長崎、マニラ、香港行
臺灣行
釜山丸　本月十日午前八時神戸出帆門司、長崎、基隆、安平、打狗行
臺北丸　同十六日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行
さーら丸　毎月一日、十五日午後二時神戸出帆門司、基隆行
臺中丸　毎月十五日三十日正午十二時神戸出帆門司、基隆行
笠戸丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行
浦潮斯德行
風山丸　本月十二日午後五時敦賀出帆同十四日浦潮斯德著
（日曜日浦潮斯德發歐洲行急行臨發列車ニ連絡ス）

○附錄　今六日發刊廣告十六頁

許可 8359 本文

物価局

官報　號外　明治四十四年五月六日　土曜日　印刷局

○告示

宮内省告示第九號

五月六日午後十一時五十分成久王妃殿下第一女子誕生セラル

明治四十四年五月六日　宮内大臣　伯爵渡邊千秋

官報號外　明治四十四年五月六日（昭和三十一年四月第三種郵便物認可）

第 813519 号　物価号外

官報第八千三百五十九號附錄

明治四十四年五月六日

○廣告

○商業登記

合資會社加藤商店登記事項中左ノ如ク追加ス

一清算結了ノ年月日

明治四十四年四月二十日

合資會社モスリンキヤリコ商店登記事項中左ノ如ク變更ス

一社員竹内岩次郎ハ明治四十四年四月二十一日其持分全部ヲ社員竹内房次郎ニ譲渡シテ退社シ之ヲ譲受ケタル者ハ同日其出資額ヲ左ノ如ク變更ス

金五万圓　竹内房次郎

合資會社登記簿第三十八册第一八四四號

一商號　合資會社伊貫屋

一本店　東京市京橋區木挽町一丁目十四番地

一目的　歌肉販賣

一設立ノ年月日　明治四十四年四月二十一日

一代表社員ノ氏名

一存立ノ時期及解散ノ事由　存立時期　自明治四十四年四月二十一日　滿二十箇年　至同　六十四年四月二十一日

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

無限　鈴木　耕作

金二千圓　有限　木村　粂丸

金一千圓　同　岩澤　初兒

株式會社登記簿第十八册第七八〇號

一商號

一本店

一目的

一設立ノ年月日

一資本總額

一各株ニ付拂込ミタル株金額

一公告ヲ爲ス方法

一取締役ノ氏名住所

合名會社登記簿第一册第一號

一商號　合名會社田澤鐵工場

一本店　東京府豊多摩郡大久保村大字東大久保五百三十番地

一目的　鐵橋、橋梁及風呂釜製造及販賣

一設立ノ年月日　明治四十四年四月二十日

一代表社員ノ氏名

一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格

田澤　久藏　東京市京橋區木挽町一丁目十四番地　金一千圓

府川福次郎　神奈川縣大住郡大野村字南原百十七番地　金四千圓

一存立時期　明治四十四年四月二十日

右明治四十四年四月二十二日登記

合資會社登記簿第一册第四十五號

一商號

一本店　伊藤合資會社

一目的　東京府豊多摩郡澁谷町大字青山北町七丁目四十二番地

一設立ノ年月日　兩替及金錢貸付營業

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任　明治四十四年四月二十二日

伊藤大郎吉　東京府豊多摩郡澁谷町大字青山北町七丁目四十二　無限

石川平左衛門　東京市赤坂區青山南町六丁目五十一番地　有限

三橋　義則　東京府豊多摩郡澁谷町大字青山南町七丁目六番地　金一百圓

金八百圓　金一百圓

一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年

右明治四十四年四月二十四日登記　東京區裁判所淀橋出張所

一設立ノ年月日

一資本總額

一各株ニ付拂込ミタル株金額

一公告ヲ爲ス方法

一取締役ノ氏名住所

青木　禧藏　東京市神田區三河町三丁目三番地

平賀貫次郎　東京府荏原郡目黒村下目黒四百十二番地

佐々原清成　同府豊多摩郡澁谷町字中澁谷百八十四番地

一鑑査役ノ氏名住所

佐藤福次郎　東京市澁谷區田町一丁目七十五番地

井上　佐平　同市神田區三河町三丁目三番地

一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　存立時期　自明治四十四年四月三十日　滿二十箇年　至同　六十四年四月十九日

右明治四十四年四月二十二日登記　東京區裁判所

東京肥料合資會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十四年四月二十三日總社員ノ同意ニ依リ木村松五郎ハ入社ス

一金一千圓　木村松五郎

一無限　東京市芝區伊皿子町七十六番地

一明治四十四年四月二十三日總社員ノ同意ニ依リ左ノ者ヲ代表社員ニ選任ス

東京市芝區伊皿子町七十六番地　木村松五郎

一設立ノ年月日

一資本總額

一各株ニ付拂込ミタル株金額

一公告ヲ爲ス方法

一取締役ノ氏名住所

一商號

一營業

一營業所

一商號使用者

右明治四十四年四月二十二日登記

益大莊　兩替業　橫濱市本町一丁目十二番地　同番地清國官民

一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　存立時期　自明治四十四年四月三十日　滿二十箇年　至同　六十四年四月十九日

右明治四十四年四月二十二日登記　東京區裁判所

橫須賀印刷株式會社變更事項

一各株ニ付拂込ミタル株金額　金二十圓

右明治四十四年四月二十四日登記　橫須賀區裁判所

株式會社登記

松戸植物株式會社登記事項中變更左ニ

一取締役遠藤日慕甲子雄鈴木嘉田中武右衛門田中久五郎辭任シ東葛飾郡七福村五木三一二番地遠藤治郎吉印旛郡白井村根一〇一〇番地岩崎元吉東葛飾郡大柏村大野八九三番地石井泰吉同郡土村酒井根六四番地橫尾鐵五郎同郡七福村吉葦八一二番地藤井勝太郎補欠選任ス

南多摩郡澁川村上柴田千五百七十五番地串田正吉　串田　七口

一要ノ氏名住所

一營業ノ種類　織物製造業

一營業所　南多摩郡澁川村上柴田千五百七十三番地

右明治四十四年四月二十二日登記　八王子區裁判所

商號

一營業

一營業所

一商號使用者

右明治四十四年四月二十二日登記

益大莊　兩替業　橫濱市本町一丁目十二番地　同番地清國官民

橫濱貿易合資會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十四年四月二十三日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス

荏原郡碑衾村大字碑文谷二十七番地

右明治四十四年四月二十四日登記　東京區裁判所南品川出張所

合名會社登記簿第一册第一六號

一商號　合名會社田澤鐵工場

一本店　東京府豊多摩郡大久保村大字東大久保五百三十番地

一目的　鐵橋、橋梁及風呂釜製造及販賣

一設立ノ年月日　明治四十四年四月二十日

一代表社員ノ氏名

一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格

田澤　久藏　東京市京橋區木挽町一丁目十四番地　金一千圓

府川福次郎　神奈川縣大住郡大野村字南原百十七番地　金四千圓

一存立時期　明治四十四年四月二十日

右明治四十四年四月二十二日登記

合資會社登記簿第一册第四十五號

一商號

一本店　伊藤合資會社

一目的　東京府豊多摩郡澁谷町大字青山北町七丁目四十二番地

一設立ノ年月日　兩替及金錢貸付營業

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任　明治四十四年四月二十二日

伊藤大郎吉　東京府豊多摩郡澁谷町大字青山北町七丁目四十二　無限

石川平左衛門　東京市赤坂區青山南町六丁目五十一番地　有限

三橋　義則　東京府豊多摩郡澁谷町大字青山南町七丁目六番地　金一百圓

金八百圓　金一百圓

一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年

右明治四十四年四月二十四日登記　東京區裁判所淀橋出張所

要登記簿第一册第十二號

一要ノ氏名住所

南多摩郡澁川村上柴田千五百七十三番地串田正吉　串田　七口

一營業ノ種類　織物製造業

一營業所　南多摩郡澁川村上柴田千五百七十三番地

右明治四十四年四月二十二日登記　八王子區裁判所

商號

一營業

一營業所

一商號使用者

右明治四十四年四月二十二日登記

益大莊　兩替業　橫濱市本町一丁目十二番地　同番地清國官民

橫須賀印刷株式會社變更事項

一各株ニ付拂込ミタル株金額　金二十圓

右明治四十四年四月二十四日登記　橫須賀區裁判所

株式會社登記

松戸植物株式會社登記事項中變更左ニ

一取締役遠藤日慕甲子雄鈴木嘉田中武右衛門田中久五郎辭任シ東葛飾郡七福村五木三一二番地遠藤治郎吉印旛郡白井村根一〇一〇番地岩崎元吉東葛飾郡大柏村大野八九三番地石井泰吉同郡土村酒井根六四番地橫尾鐵五郎同郡七福村吉葦八一二番地藤井勝太郎補欠選任ス

付録
8359
官報

金錢各名會社登記事項中總社員ノ同意ニ依リ函館區船場町二番地ト變更ス
右明治四十四年四月十四日登記

函館區裁判所

角一朝男酒造合資會社有限責任社員大西清次郎ハ明治四十四年四月二十日札幌郡札幌村大字札幌村細二百三十三番地百地藥次郎ヘ出資持分金五百圓ノ讓渡ノ上退社シ同人ノ之レヲ讓受ケ有限責任社員トシテ入社ス
右明治四十四年四月二十日登記

札幌區裁判所

合資會社出田商店變更登記
一明治四十四年四月一日無限責任社員金田秀太郎同社員金田タカヘハ總社員ノ同意ヲ得テ金田秀太郎ハ持分ノ內金五百圓ヲ金田タカヘハ持分ノ內金二千圓ヲ石狩國上川郡旭川町四條通五丁目左三號小島寬藏ニ讓渡シ小島寬藏ハ之ヲ讓受ケ有限責任社員トシテ入社シ金田秀太郎ハ出資ノ內金五百圓ヲ金五百圓ト變更ス
右明治四十四年四月二十一日登記

旭川區裁判所

室蘭共濟株式會社ハ明治四十四年四月十四日臨時株主總會ニ於テ監査役補缺選舉ノ結果左記ノ通當選就任ス

監査役　澁谷　眞吉
同町同番地　宮內　虎吉

右明治四十四年四月十七日登記

室蘭區裁判所

室蘭共濟株式會社取締役上村岩治、長木谷宮代助ハ明治四十四年四月十四日辭任ニ付株消ス同年同月同日株主臨時總會ニ於テ取締役補缺選舉ノ結果左記ノ通當選就任ス

室蘭町大字海岸町一番地　田中榮三郎
取締役　同町大字常盤町三十番地　高山勇次郎

右明治四十四年四月十八日登記

室蘭區裁判所

鱒西地田兵合資會社社員宋松清兵衛ハ無限責任社員ノ承諾ヲ得テ明治四十四年四月十一日持分全部ヲ室蘭郡鱒西村五百三十三番地宋松トシニ讓渡シテ退社シタリ

右明治四十四年四月二十日登記

室蘭區裁判所

妻登記第九號
營業ノ種類　同上同番地　飯田　タキ
右明治四十四年四月十七日登記　釧路區裁判所

釧路郡釧路町大字釧路村字西幣舞五番地　煉瓦小賣

合資會社設立登記第十五號

一商號　合資會社外山商店
一本店　釧路郡釧路町大字幣舞町一丁目番外地
一目的　不動産ノ賃貸、漁業用製造販賣
一設立ノ年月日　明治四十四年四月十八日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金一万圓無限釧路町大字幣舞町一丁目番外地外山治吉
五部金四千二百五十圓有限同上同番地外山ユイ　金四千二百五十圓有限同上同番地外山タツ
一存立ノ時期　滿二十箇年
右明治四十四年四月十九日登記

釧路區裁判所

鎭南浦電氣株式會社登記事項中總數三千株ニ對シ明治四十四年四月五日第二回拂込金五圓ノ拂込アリシ左ノ如ク變更ス

一金一千七圓五十錢

右明治四十四年四月十七日登記　鎭南浦區裁判所

支配人解任登記

會名會社城崎商會支配人深町寇次郎ハ明治四十四年四月十三日解任セリ
右明治四十四年四月十三日登記

臺北地方法院

會資會社盛北商會番登記事項中左ノ通變更ス
一存立時期　明治四十七年三月三十一日迄
右明治四十四年四月十三日登記

臺北地方法院

基隆荷役株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一本店　臺北縣基隆街七名會伊澤無番地ニ移轉ス
右明治四十四年四月十四日登記

臺北地方法院基隆登記所

株式會社設立登記
一商號　株式會社
一本店　臺中縣豐原街中街五百三十番地
一目的　水及清涼飲料水ヲ製造販賣ス
一設立年月日　明治四十四年四月九日
一資本ノ總額金二十万圓
一一株ノ金額金五十圓
一各株ニ付拂込タル金額金十二圓五十錢
一公告ヲ爲ス方法　本會社ノ管轄登記所ノ公告スル新聞紙ニ掲載ス
一取締役ノ氏名住所　臺中縣豐原街中街八百八十四番地小畑駒三　同縣同堡同街五百三十五番地山下秀貢　同縣同堡同街九百四十番地山移定政　同縣同堡同街五百十七番地安土面矢郎　同縣同堡同街二百二十番地樋口仁三郎　一監査役ノ氏名住所　臺中縣豐原堡豐中街九百二番地野津三次郎　臺北縣大加納堡臺北府中街三丁目十八番地ノ一眞島政也　臺中縣豐原堡豐中街六百三十八番地磯井一康　同縣同堡同街九百四十二番地東谷雅輔　同縣同堡同街六百十番地坂本秉眷哉　一存立ノ時期　明治七十四年四月八日迄
右明治四十四年四月十五日登記

臺中地方法院

株式會社城崎商會支店登記事項中左ノ通變更ス
一取締役井上準之助ハ其住所ヲ左ノ通變更セリ
東京市芝區琴平町二十五番地二號
右明治四十四年四月十七日登記

大蓮民政署

合資會社登記簿第一冊第十九號

一商號　合資會社三利公司
一本店　大連市敷島町六十四番地
一目的　石材採掘販賣及砂利砂販賣
一設立ノ年月日　明治四十四年四月十八日
一代表社員ノ氏名　三瓶盛業
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金一千圓　無限　三瓶　盛業
一金一千圓　無限　劉　德霖
一金一千圓　有限　大連市敷島町六十四番地　梁　中和
一存立ノ時期　大連市敷島町六十四番地
右明治四十四年四月十八日登記　設立ノ日ヨリ滿三箇年

大蓮民政署

橋證正金銀行支店登記事項中左ノ通變更ス
(十)取締役井上準之助ノ住所ヲ東京市芝區琴平町二十五番地二號ニ變更ス
右明治四十四年四月十七日登記

旅順民政署

○法人登記

在日本エス、ピー、ダー宣教師社團登記事項中左ノ如ク變更ス
一理事ライオネル、バーナース、チヤモレン(明治四十四年四月七日退任シ同、アーミン、フランシス、キング)ハ同日重任シ(ベルナード、ニユートン、マイルス)ハ同日理事ニ就任ス
東京市芝區芝梁町十番地英國人　アーミン、フランシス、キング
紐岡縣東草深町一丁目十二番地英國人　ベルナード、ニユートン、マイルス
右明治四十四年四月二十二日登記

(十一)臨時社金臺林團登記事項中左ノ通變更ス
鑑査役金員明治四十四年四月二十日任期滿了ニ付同日總會ニ於テ左記ノ者ヲ選任ス

栃木縣上都賀郡粟野町大字日光野百五番地　櫛尾　宣弘
栃木縣上都賀郡粟野町大字日光野百八十三番地　高澤　敬七
栃木縣上都賀郡粟野町大字日光野八百八十三番地　高田　七平

右明治四十四年四月二十四日登記　宇都宮區裁判所日光野出張所

營利ヲ目的トスル法人登記
大成石油株式會社登記事項中監査役補缺選舉ヲ爲シ左ノ人名當選變更ス
一監査役ノ氏名住所

申魚沼郡下船渡村甲千五十五番地
東頸城郡松之山村大字浦田口千六百七十七番地　村山　正友
同郡松代村大字松代三千二百七十五番地　田邊　龍藏
申魚沼郡中條村大字中條甲千二十二番地　岡田　正平
長岡市柳原町二百七十二番地甲　長谷川久治

但シ一名ハ當分缺員トス
右明治四十四年四月二十二日登記

同會社登記事項中取締役補缺選舉ヲ爲シ左ノ人名當選變更ス
一取締役ノ氏名住所

東頸城郡松之山村大字浦田口千六百七十七番地　村山　正友
同郡松代村大字松代三千二百七十五番地　田邊　龍藏
同市北四番丁百八十八番地　岡田　正平
同市上杉山通十七番地　柳　芳太郎

右明治四十四年四月二十二日登記

○相互保險會社登記

東海生命保險相互會社　取締役栗方五郎ハ住所ヲ東京市芝區西久保櫻川町十二番地ニ移轉
明治四十四年四月二十二日登記

大阪區裁判所

○産業組合登記

有限責任販賣購買組合三浦與產會變更事項
一目的　木組合ハ組合員ノ生計及產業ニ必要ナル物品ヲ購買シ及組合員ノ委托ヲ受ケ其生產シタル農產物及漁獲シタル水產物ヲ販賣シ以テ組合員ノ福利ヲ增進スルコト
右明治四十四年四月二十一日登記

橫濱賀區裁判所

產業組合登記變更登記第七號
一名稱　岐阜縣揖斐郡富秋村寺內六百二十四番地　大垣區裁判所揖斐出張所
右明治四十四年四月二十一日登記ス

營利ヲ目的トスル法人登記
組織變更ニ付事務所ヲ左ノ處ヘ移轉セリ

岐阜縣揖斐郡富秋村寺內六百二十四番地

右明治四十四年四月二十一日登記ス

營利ヲ目的トスル法人登記
組織變更ニ付事務所ヲ左ノ處ヘ移轉セリ

岐阜縣揖斐郡富秋村寺內六百二十四番地

右明治四十四年四月二十一日登記ス

營利ヲ目的トスル法人登記
一事務所　三重縣安濃郡高茶屋村大字高茶屋小森字上野三千四百十番地
一目的　農業ノ改良發達ヲ圖リ組合員ノ經濟ヲ利シ福祉ヲ增進スルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十四年四月六日
一出資ノ一口ノ金額　金五十圓
一出資ノ拂込ノ方法　第一回拂込金ハ一口ニ付金一圓トシ其後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資ノ一口ノ金額ニ達スル迄毎年一月末ニ金一圓宛ヲ拂込ムモノトス、八理事ノ氏名住所　香取郡大須賀村奈土四百五十八番地　同郡同村同千五十二番地金岡半二　同郡同村同八百九十三番地佐藤初太郎　同郡同村同二百十二番地石橋愛三郎　同郡同村栗田八百五十一番地成毛吉藏　九監事ノ氏名住所　香取郡大須賀村奈土五百九十二番地木內榮左衞門　同郡同村同七百十六番地佐藤松之助　同郡同村同八百四十九番地椎慶治
右明治四十四年四月二十一日登記

佐原區裁判所

產業組合設立登記
一名稱　無限責任毛呂村殖產信用組合
一組織　無際責任
一事務所　入間郡毛呂村大字前久保二十六番地
一目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ保管ヲ爲スコト
一設立許可ノ年月日　明治四十四年四月十三日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込金ハ一圓第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外一月六月各末日迄ニ金一圓ヲ拂込ムコト
右明治四十四年四月二十一日登記

岡山區裁判所

官報　第八三五九號附錄　明治四十四年五月六日

第 813519 号 付録

産業組合登記變更
有限責任秦川村信用組合ハ事務所ヲ愛知郡秦川村大字東出百七十八番地ニ移轉セリ
一理事二名增員シ左ノ通選擧セリ
愛知郡秦川村大字目加田九百三十二番地　清水傳兵衛
同郡同村大字常安寺四十二番屋敷　小林喜八
右明治四十四年四月二十四日登記
彦根區裁判所愛知川出張所

有限責任藏本信用組合　理事及監事任期滿了ニ付キ改選ノ結果左ノ通變更ス　德島縣名東郡加茂名村大字藏本村二百六十番屋敷宇野林藏同郡同村大字同村二百六十四番屋敷吉田保郎同郡同村大字同村字城ノ内百二十三番地ノ二山田勁同郡同村大字同村二百三十一番屋敷若村寛太郎同郡同村大字同村百九十八番屋敷齋藤貞五郎同郡同村大字同村四百三十八番屋敷長澤伊左衛門同郡同村大字同村字城ノ内一番地仁木財次郎以上理事同郡同村大字同村同字十五番地山口天敎同郡同村大字同村四百十九番屋敷[illegible]內涛太郎同郡同村大字同村二百七十番屋敷川上愛助　以上監事　出資拂込ノ方法ヲ左ノ通變更ス　出資一口第一回ノ拂込金額ヲ三圓トス
右明治四十四年四月二十一日登記
德島區裁判所

有限責任阿波生糸生產販賣組合一條社ハ明治四十四年四月七日總會ノ決議ニ因リテ解散ス
一淸算人ノ氏名住所
板野郡大山村大字神宅村百三十三番屋敷　福田清平
板野郡一條村大字五條村字本鄕八十一番地　村部久次郎
阿波郡八幡町大字大野島村字大石三番地　内田茂吉
名西郡高川原村大字高川原村字船戶千二百二十八番地　近藤嘉十郎
右明治四十四年四月二十日登記
撫養區裁判所鍛冶屋原出張所

無限責任郡里傘販賣購買組合登記事項中左ノ通變更ス
一理事明治四十一年二月四日監事明治三十九年二月四日各任期滿了ニ付明治四十四年四月十日總會ノ決議ニ因リ左ノ通當選就任ス
理事　德島縣美馬郡郡里村大字郡里村三百四十二番屋敷　土井吉三郎
理事　同縣同郡同村大字同村字驛五十九番地　宮久保福太郎
監事　同縣同郡同村大字同村三百三十六番屋敷　眞鍋孫平
監事　同縣同郡同村大字同村三百八十七番屋敷　三好喜太郎
監事　同縣同郡同村大字同村三百三十三番屋敷　眞鍋虎平
右明治四十四年四月二十一日登記

産業組合解散登記
無限責任郡里傘販賣購買組合ハ明治四十四年四月十五日總會ノ決議ニ因リ解散ス
右明治四十四年四月二十一日登記

産業組合淸算人選任登記
無限責任郡里傘販賣購買組合明治四十四年四月十五日總會解散決議ニ因リ左ノ通淸算人ニ就任ス
淸算人　德島縣美馬郡郡里村大字郡里村三百四十二番屋敷　土井吉三郎
淸算人　同縣同郡同村大字同村字驛五十九番地　宮久保福太郎
明治四十四年四月二十一日登記
脇町區裁判所郡里出張所

産業組合設立登記
名稱有限責任東本山村信用組合　組織有限責任　事務所高知縣長岡郡東本山村日浦七百七十三番ロ號地　目的組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸附シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト　設立許可ノ年月日明治四十四年四月七日　出資一口ノ金額十圓　出資拂込ノ方法第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金一圓トシ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外每年十一月三十日迄出資各口ニ金一圓宛拂込ムモノトス　理事ノ氏名住所長岡郡東本山村中村大王九十一番屋敷門脇恒實同村礫谷十一番屋敷森喬木同村和田三十六番屋敷三浦久吾同村中村大王八番屋敷酒井馬吉同村日浦四十番屋敷永野兇次同村杉二十三番屋敷橋本蔭茂同村穴內九十六番屋敷佐々木濱五郎　監事ノ氏名住所長岡郡東本山村和田二番屋敷朝倉周藏同村杉四番ロ號地安松長藏　存立ノ時期設立許可ノトキヨリ向二十年
右明治四十四年四月二十日登記
高知區裁判所杉出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任南山名信用購買組合
一組織　有限責任
一事務所　愛知縣丹羽郡扶桑村大字南山名字本鄕五十二番地五十三番地
一目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ竝ニ農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却ス
一設立許可ノ年月日　明治四十四年四月四日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金一圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ出資各口ニ付每年七月末金一圓以上宛拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
愛知縣丹羽郡扶桑村大字南山名字本鄕五十三番地　伊藤貞太郎
同縣同郡同村同大字百三十番戶　今枝熊三郎
同縣同郡同村同大字字岩石四番地　高木信一
同縣同郡同村同大字百三十八番戶　伊藤孝次郎
一監事ノ氏名住所
愛知縣丹羽郡扶桑村大字南山名五十八番戶　小室泰一
同縣同郡同村同大字百四十四番戶　伊藤廣三郎
同縣同郡同村同大字字前野浦七十六番地　川田安一
一存立ノ時期　二十箇年
明治四十四年四月十五日登記
右公告ス
明治四十四年四月十五日
一宮區裁判所犬山出張所

一名稱　有限責任大岡信用購買組合
一組織　有限責任
一事務所　碧海郡安城町大字大岡字荒神三十二番地
一目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ且農業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却ス
一設立許可ノ年月日　明治四十四年四月四日
一出資一口ノ金額　金十五圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金一圓五十錢トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付每年一月末及八月末金一圓五十錢宛拂込ムモノトス
一存立時期　二十箇年
一理事及監事ノ氏名住所
理事　碧海郡安城町大字大岡三十五番戶　山本篤吉
同　同郡同町同大字二十九番戶　細井仲太郎
同　同郡同町同大字三十七番戶　山本竹四郎
監事　同郡同町同大字十三番戶　堀尾要
同　同郡同町同大字字唐津十五番地　山本辰治
無限責任高須信用購買組合ハ明治四十四年一月三十日總會ノ決議ニ因リ登記事項中左ノ通變更ス
一組織　有限責任
一名稱　有限責任高須信用購買販賣組合
一目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト　農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト　組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル物ヲ販賣スルコト
一存立時期　三十箇年
一事務所　碧海郡依佐美村大字高須字坤八十七番地
右組合ハ明治四十四年四月十三日總會ノ決議ニ因リ監事一名增員左ノ者當選ス
碧海郡依佐美村大字高須字坤十一番地　加藤忠太郎
以上明治四十四年四月十九日登記
右公告ス
明治四十四年四月十九日
岡崎區裁判所知立出張所

無限責任田尻西部購買組合登記事項中左ノ通變更ス
一名稱　無限責任田尻西部購買組合ヲ有限責任田尻西部購買組合トス
一組織　無限責任ヲ有限責任トス
一出資拂込ノ方法　第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付每年一月末金一圓以上ツヽ拂込ムモノトストアルヲ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付每年一月末金一圓以上宛拂込ミ第三回拂込以後ハ理事ニ於テ必要ト認メタル時總會ノ決議ヲ以テ其都度金額時期ヲ定メ拂込ムモノトス
明治四十四年四月二十二日登記
豐橋區裁判所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任長篠本鄕信用購買組合
一組織　有限責任
一事務所　愛知縣南設樂郡長篠村大字長篠字鍛冶屋貝津九番地
一目的　(一)組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト　(二)農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十四年四月八日
一出資一口ノ金額　金十五圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金一圓五十錢トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付每年一月末及七月末金一圓以上宛拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
愛知縣南設樂郡長篠村大字長篠百五十五番戶　三橋三折
同縣同郡同村同大字字鍛冶屋貝津三十一番地　野澤金作
同縣同郡同村同大字字權現堂六番七番ノ一合併地　望月才輔
一監事ノ氏名住所
愛知縣南設樂郡長篠村大字長篠七十五番戶　望月喜平治
同縣同郡同村同大字百三十番戶　伊藤榮太郎
同縣同郡同村同大字字新居四十二番地　伊藤俊一
一存立ノ時期　二十箇年
右明治四十四年四月二十一日登記
新城區裁判所大野出張所

有限責任上米田信用購買組合登記事項中明治四十四年一月二十九日總會ノ決議ニ因リ目的ヲ左ノ通變更ス
一　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二　產業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
三　加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フ
右明治四十四年四月二十一日登記
御嵩區裁判所太田出張所

産業組合設立登記
一　名稱　有限責任日進信用組合
二　組織　有限責任
三　事務所　岐阜縣土岐郡日吉村六百二番戶
四　目的　組合ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム
五　設立許可ノ年月日　明治四十四年四月七日
六　出資一口ノ金額　金五圓
七　出資拂込ノ方法　第一回拂込金額ハ一口ニ付金一圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ出資各口ニ付第一回拂込ノ翌月末日迄ニ其全額ヲ拂込ムコトヲ要ス但理事ノ承諾ヲ經テ一箇年以內ニ於テ每月末金五十錢以上拂込ムコトヲ得
八　理事ノ氏名住所
岐阜縣土岐郡日吉村六百二番戶　小倉松三郎
同縣同所六百四十番戶　渡邊勇吉
同縣同所五百九十一番戶　南義三
九　監事ノ氏名住所
岐阜縣土岐郡日吉村五百九十番戶　小倉金十郎
同縣同所六百八番戶　板橋鉾治郎
同縣同所六百十一番戶　渡邊鋳治郎
十　存立ノ時期　十箇年
右明治四十四年四月二十二日登記
御嵩區裁判所土岐出張所

有限責任大神信用購買組合登記事項中監事任期滿了ノ處第四回通常總會ニ於テ左ノ通再選就任ス
石川郡河內村字八幡ヲ三十二番地　岡田與十郎
同郡同村字白山ヨ六十九番地　牛田勝見
同郡同村字福岡戾十三番地　牧野權次郎
同郡同村字吹上ロ七番地　高木新右衛門
右明治四十四年四月二十一日登記
金澤區裁判所鶴來出張所

産業組合設立登記
名稱、有限責任淺地信用購買販賣組合　組織、有限責任　事務所、西礪波郡藪波村大字淺地村三六六五番地　目的、組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト、組合員ノ產業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣卻スルコト、組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル農產物ヲ販賣スルコト　設立許可ノ年月日、明治四十四年三月十七日　出資一口ノ金額、金十圓　出資拂込ノ方法、第一回拂込金額ハ一口ニ付金二圓トシ以後ノ拂込ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外每年一月二十七日迄ニ一口ニ付金二圓ツヽ、拂込ミ最終ノ拂込ハ其殘額トス　理事ノ氏名住所、西礪波郡藪波村大字淺地村三六六五番地石野藤作、同郡同村大字同村一九〇二番地中川宗吉、同郡同村大字同村七二八四番地藤田津次郎、同郡同村大字同村二七〇五番地柴田小市、同郡同村大字同村四八二八番地石野伊平　監事ノ氏名住所、西礪波郡藪波村大字淺地村二四四五番地吉岡直作、同郡同村大字同村七七九六番地齊藤茂一郎、同郡同村大字同村四一四〇番地藤田庄太郎　存立ノ時期、設立ノ日ヨリ二十箇年
右明治四十四年四月二十一日登記
杉木新區裁判所今石動出張所

無限責任廣島縣山縣郡川迫村信用組合登記事項中左ノ如ク變更ス
一理事二宮昌一郎ハ辭任ス
右明治四十四年四月二十一日登記
廣島區裁判所有田出張所

一有限責任瀨戶田鹽業購買組合明治四十四年一月十八日總會ニ於テ出資一口四十圓ヲ二十圓ニ減少ス
一同上出資ノ總額四千八十圓ヲ二千四十圓ニ減少ス
右明治四十四年四月二十一日登記ス
竹原區裁判所瀨戶田出張所

無限責任八鉾信用組合登記事項中變更
一組織　無限責任ヲ有限責任ニ　一名稱　無限責任八鉾信用組合ヲ有限責任八鉾信用組合ニ
右明治四十四年四月二十日
庄原區裁判所東城出張所

有限責任玖珂信用購買組合登記事項變更　理事重弘武助死亡
明治四十四年四月二十一日登記
岩國區裁判所高森出張所

一名稱有限責任秋中村信用組合　組織有限責任　事務所玖珂郡秋中村大字北中山第三一五八番地ノ二　目的組合員ニ產業上必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム　設立許可ノ年月日明治四十四年四月一日　出資一口ノ金額金五圓　出資拂込ノ方法第一回拂込金一圓トシ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外左ノ各號一ニ依リ拂込ヲナスモノトス　一出資各口ニ付每月末金二十錢以上拂込ノコト　二出資各口ニ付每年一月末日及七月末日金一圓以上拂込ノコト　三第一回拂込後二箇年以內ニ全額ヲ拂込ムコト　存立期限二十箇年　理事ノ住所氏名玖珂郡秋中村第一一五番屋敷玉田龍作同郡同村大字秋掛第三五六番地坪井三郎同郡同村第一四八番屋敷廣中嘉吉　監事ノ住所氏名　同郡同村第二四六番屋敷貝嘉作同郡同村第一一一番屋敷玉田泰作　解散ノ事由本組合解散シタルトキハ理事其淸算人トナル
右明治四十四年四月二十二日登記
岩國區裁判所本鄕出張所

第8359号付録

第 813519 号　付録

第8359号 付録

一監事ノ氏名住所
膽澤郡佐倉河村字佐五十四番戸　小野永之進
同郡同村下河原百十九番戸　菅原小平
同郡同村備倉百六十二番戸　松本權藏
同郡同村常盤字櫻ノ目五十四番一號地　阿部勝治郎

右明治四十四年四月二十一日登記
水澤區裁判所

產業組合登記簿第一冊第四號
一名稱　有限責任木地購買販賣組合
一組織　有限責任
一事務所　秋田縣雄勝郡川連村川連八十二番地
一目的　營業ニ必要ナル原料ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却シ組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル木地ヲ販賣スルヲ目的トス
一出資一口ノ金額　金十五圓
一出資ノ方法
一　出資各口ニ付毎月末金三十錢以上拂込ムコト
二　出資各口ニ付毎年六月十二月ノ各二十五日金二圓五十錢以上拂込ムコト
三　第一回拂込後一箇年以內ニ全額ヲ拂込ムコト
一設立許可ノ年月日　明治四十四年四月五日
一存立ノ時期　滿十箇年
一理事ノ氏名住所
秋田縣雄勝郡川連村川連八十二番地　高橋久三
右同所八十三番地　佐藤時四郎
右同所八十七番地ノ二　齊澤源右衛門
右同所乙二十七番地　佐々木忠助
右同所六十五番地　高橋專太郎
一監事ノ氏名住所
秋田縣雄勝郡川連村川連二十九番地　齊澤佐三郎
右同所九十一番地　高橋惣治

右明治四十四年四月二十一日登記
湯澤區裁判所駒形出張所

名稱有限責任大豐生產購買販賣組合　組織有限責任　事務所青森縣南津輕郡田舍舘村大字大根子十六番戸　目的農事ニ必要ナル物ヲ備ヘ之ヲ組合員ニ使用セシムルコト農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル物ヲ販賣スルコト　設立許可ノ年月日明治四十四年四月四日　出資一口ノ金額金五十圓　出資拂込ノ方法第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外ハ事業ノ狀況ヲ參酌シ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム　理事ノ氏名住所南津輕郡田舍舘村大字大根子三十一番戸鈴木太平同同上十六番戸田澤兵治同上大字豐蒔五十六番戸ノ一號一戸林藏　監事ノ氏名住所南津輕郡田舍舘村大字大根子字村立三十七番地工藤次郎八同上大字豐蒔三十一番戸淺利貞固　存立時期設立許可ノ日ヨリ滿十箇年

右明治四十四年四月二十一日登記
弘前區裁判所黑石出張所

○漁業組合登記

漁業組合設立登記
一名稱　佐久島村漁業組合
一事務所　幡豆郡佐久島村字西側一番地
一目的　漁業權ヲ享有行使シ組合共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日　明治三十六年五月三十日
一地區　幡豆郡佐久島村ノ區域
一理事ノ氏名住所
幡豆郡佐久島村二百七十七番戸　藤井佐次兵衛
幡豆郡同村二十八番戸　筒井八助
同郡同村百四十三番戸　筒井淺治郎
一監事ノ氏名住所
幡豆郡佐久島村五十四番戸　筒井金兵衛
同郡同村二百二十二番戸　高橋彌七

右明治四十四年四月二十一日登記
右公告ス
明治四十四年四月二十一日
西尾區裁判所横須賀出張所

一名稱　堀切漁業組合
一目的　漁業權ヲ享有行使シ組合員共有ノ利益ヲ圖ル
一地區　渥美郡伊良湖岬村大字堀切
一設立許可年月日　明治三十六年四月二十八日
一事務所　渥美郡伊良湖岬村大字堀切字除地五十六番地
一理事監事ノ氏名住所左ノ如シ
理事　渥美郡伊良湖岬村大字堀切五十八番戸　木部源治
監事　同郡同村同大字百七十一番戸　小久保彥八
監事　同郡同村同大字字瀨古畑百四番地　渡會傳四

右明治四十四年四月十九日登記
豐橋區裁判所福江出張所

一名稱　伊良湖漁業組合
一事務所　渥美郡伊良湖岬村大字伊良湖字拾歩二千九百三十五番地
一目的　漁業權ヲ享有行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ル
一設立許可年月日　明治三十六年四月十五日
一地區　渥美郡伊良湖岬村大字伊良湖
一理事監事ノ氏名住所左ノ如シ
理事　渥美郡伊良湖岬村大字伊良湖八十一番戸　粕谷清吉
監事　同郡同村同大字七十六番戸　小久保連

右明治四十四年四月二十一日登記
豐橋區裁判所福江出張所

伊良湖漁業組合登記事項中左ノ通變更ス
一理事監事滿期ニ付改選左ノ者就任ス
理事(重任)　渥美郡伊良湖岬村大字伊良湖八十一番戸　粕谷清吉
監事(新任)　同大字五十九番戸　小久保玉吉

右明治四十四年四月二十一日登記
豐橋區裁判所福江出張所

漁業組合設立登記
一名稱　鴻村漁業組合
一事務所　兒島郡琴浦村大字下村四百六十八番地
一目的　本組合ハ漁業權ヲ享有行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日　明治三十六年五月二十六日
一地區　兒島郡琴浦村大字下村、上村
一理事ノ氏名住所　兒島郡琴浦村大字下村四百三十番地　沖庄吉
一監事ノ氏名住所　兒島郡琴浦村大字下村三百九十一番地　高田富士太郎

右明治四十四年四月二十一日登記
岡山區裁判所味野出張所

漁業組合設立登記
一名稱　西興除漁業組合
一事務所　兒島郡興除村大字曾根四十六番地
一目的　本組合ハ漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日　明治三十六年六月二十二日
一地區　兒島郡興除村大字曾根、西疇一圓
一理事ノ氏名住所
兒島郡興除村大字曾根六百八番地　長田竹三
同所六百十二番地　長田卯吉
同所四百二十番地　坂本祐太郎
同所四十六番地　上野巖
一監事ノ氏名住所
兒島郡興除村大字曾根六百十番地　長田力松
同郡同村大字西疇二百七十一番地　丸山九三八

右明治四十四年四月二十二日登記
岡山區裁判所味野出張所